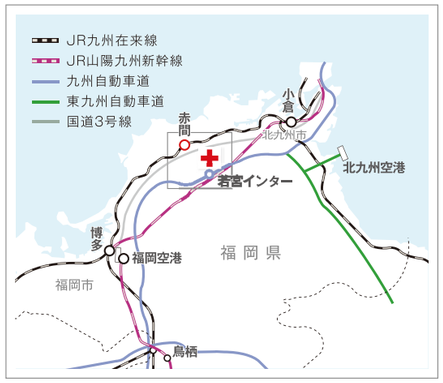
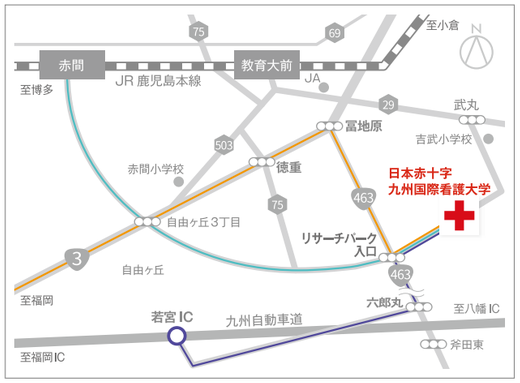
ACCESS

宗像市の郊外にある自然豊かなキャンパスは、
生命を尊び、慈しむことの大切さを学ぶにふさわしい
恵まれた環境にあります。



若宮インター(九州自動車道)より車で約 20分　福岡空港より車で約50分



福岡空港からの車道　若宮インターからの車道　JR赤間駅からのバス路線

赤間駅からアクセスが良く、天神から直行バスもあり、快適に通学できます。

西鉄バス

天神日銀前から
直行バス 約 70 min

JR 赤間駅南口から
直行バス 約 15 min

「日赤看護大学行き」西鉄バスは、校内ゲート棟まで着きます。
授業の開始・終了に合わせて、天神から1日11便運行されています。
・西鉄バス「天神日銀前」からの主な経由地
九州産業大学南口・庄(古賀市)・千鳥パークタウン・イオンモール福津前・王丸など

JR

JR 博多・小倉駅から
JR＆バス 約 50 min

JR博多・小倉駅から本校までのアクセス（JR&西鉄バスで約50分）
博多駅 約35分
小倉駅 約35分
赤間駅
バス 約15分
日本赤十字
九州国際看護大学

JR赤間駅までの所要時間の目安（快速）　遠方からも通学しやすく、福岡市内から通学する学生もたくさんいます。

吉塚	千早	香椎	福工大前	古賀	福間	折尾	黒崎
約 31 min	約 27 min	約 25 min	約 20 min	約 16 min	約 10 min	約 13 min	約 18 min

日本赤十字九州国際看護大学
〒811-4157 福岡県宗像市アスティ1丁目1番地　https://www.jrckicn.ac.jp/
TEL : 0940-35-7001　FAX : 0940-35-7021

本学は、公益財団法人大学基準協会より、大学基準に適合していると認定されています。

学校法人　日本赤十字学園

日本赤十字九州国際看護大学

JAPANESE RED CROSS KYUSHU INTERNATIONAL COLLEGE OF NURSING

CAMPUS GUIDE 2020

ひとりを
看る目
その目を
世界へ

CONTENTS

01 目次
03 赤十字について
05 学びの魅力
07 学長・学部長メッセージ
09 沿革・看護学部ポリシー
11 卒業生メッセージ
13 看護職進路図・教育課程
15 カリキュラム
17 領域別教育体制
19 看護学科1〜4年次
23 国際看護コース・海外研修
25 施設紹介
29 年間行事
29 ボランティア活動
31 クラブ・サークル
33 全国の赤十字病院
35 就職・進学
37 入試情報
39 学納金・奨学金制度
41 大学院
45 国際看護実践研究センター
45 看護継続教育センター
46 オープンキャンパス

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字の基本原則

人　道　Humanity

赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し、軽減することに国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力、および堅固な平和を助長する。

公　平　Impartiality

赤十字は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その際もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中　立　Neutrality

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は、戦闘行為の時いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独　立　Independence

赤十字は独立である。各国赤十字社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉　仕　Voluntary service

赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単　一　Unity

いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行なわなければならない。

世界性　Universality

赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

赤十字のマーク

「赤十字」　「赤新月」　「レッドクリスタル」

赤十字のマークは「白地に赤い十字」とされていますが、これは赤十字の発案者であるアンリー・デュナンの祖国に敬意を表し、スイス国旗の配色を逆にしたものです。イスラム教国では赤新月と称し、白地に赤色の三日月を用いています。また、2007（平成19）年には、これ等に加えて、白地に赤いひし形を配した「レッドクリスタル」が、第3のマークとして認定されました。

アンリー・デュナン

赤十字は、スイス人のアンリー・デュナンが、19世紀最大の激戦といわれたソルフェリーノの戦争で行った負傷者の救護活動が発端となって1864年に誕生しました。

佐野 常民

日本赤十字社は、1877（明治10）年に起きた西南戦争の際、傷病者救護の必要性を痛感した佐野常民らによって設立された、救護団体「博愛社」にさかのぼります。

学びの魅力
LEARNING STYLE

日本赤十字九州国際看護大学で学ぶということ

明治23年に始まり120年以上の歴史と実績を有する日本赤十字社の看護師養成。その教育を支える精神は、赤十字の基本原則と一致しています。赤十字は、あらゆる状況において人間の苦痛を予防し軽減するため、国際的・国内的に努力する。赤十字の目的は、人間の生命と健康を守り、人間の尊厳を確保することにある。この「人道」の精神を実現することが、赤十字の、唯一かつ絶対の使命です。この使命を最も直接的に実現する人材こそが看護師であり、日本赤十字社は多くのすぐれた看護師を生み出してきました。本学はその伝統を受け継ぎ、人道の精神に基づいて人々の安全と幸福を守る看護・保健の専門家を養成しています。

確かな実践力が身につくカリキュラム

赤十字の基本原則である「人道」の理念を基盤に、一つひとつの科目を着実に積み上げることで、「いつでも、どこでも、どんな状況にあっても、誰に対しても」看護を実践していく確かな力を育みます。

少人数制で きめ細やか

1つのベッドに3～4名の学生。グループワークを中心に、お互いを尊重し問題を解決する力を養います。

PICK UP
高度なシュミレーション機能の人体模型は、脈拍や目の動きまでリアル！
実習先に行く前にしっかり学ぼう。

国際人としてのスタートに向けた多様な舞台

グローバル社会に対応できる看護人材の育成に力を入れています。語学力はもちろん、国際人として必要な、主体的に取り組む態度を、学生自らが養っていくための様々な舞台を用意しています。

自分の目的にあった国際活動に挑戦できる

語学力	海外研修	国内外の専門家による講演
英語・スペイン語 韓国語・フランス語	3年次授業内	国際シンポジウム ｜ ランチョンミーティング

国際看護実践研究センター

- 国際交流協定大学との連携
- ランチョンミーティング
- JICA研修
- 国際フォーラム
- 国際シンポジウム

▼

グローバルなモノの見方、考え方を身につける

赤十字ネットワークを生かした学修・キャリア支援

世界191ヵ国に広がる国際赤十字の一機関として、スケールを生かした学修支援を行います。全国に病院・社会福祉施設を有する日本赤十字社の関連法人として、同社との連携でキャリア支援体制も万全です。

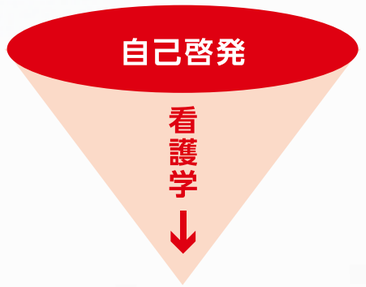
各分野の第一線で活躍する講師や卒業生

卒業後も続く赤十字のキャリア支援

社会を知り自らを知るための ボランティア

学内外でのボランティア活動を通して、社会の身近な課題を発見し自ら解決する力を養えるようバックアップします。赤十字の一員として、その基本原則である「奉仕」の行動化を、大学全体で目指していきます。

看護学を深めるには広く世の中を見渡せる力が大切です。



MESSAGE

学長メッセージ

赤十字の看護を学んで、自己実現しましょう!

日本赤十字九州国際看護大学

学長　田村 やよひ

YAYOI TAMURA

日本赤十字社の看護師養成は、約130年前の明治23(1890)年に開始されました。それ以来、赤十字の看護師たちは我が国の近代史とともに歩み、人々の健康や安寧に大きく貢献してきました。この伝統を受け継ぐ日本赤十字九州国際看護大学は、平成13(2001)年に福岡県宗像市に設立され、来年は20年目を迎えます。

本学の教育課程は、赤十字の第一原則である「人道　Humanity」の理念を基盤としており、学生たちは4年間の学修を通して、最新の看護学の知識、技術と看護職者としてふさわしい価値観、態度を身に付け、豊かな教養と人間性を涵養していきます。加えて、スイスのジュネーブにある国際赤十字委員会、日本赤十字社、各地の赤十字病院等との連携の中で行われるさまざまな活動を通じて、国内外で生じている大災害や難民問題などの人道危機とその救護・支援について具体的に学ぶことができます。特に、本学は大学名に「国際」が付いていますので、グローバル社会を視野に入れ、保健医療・看護の先進国だけでなく開発途上の国々についても学ぶ多くの機会があります。

さらに本学では、平成28年度から全国の看護系大学では唯一、文部科学省の補助事業「大学教育再生加速プログラム」の「卒業時の質保証の取り組みの強化」に採択され、今年は事業の最終年度を迎えました。これにより現在は、学修成果を可視化するシステムが開発され、学生の夢・目標の実現を教職員が一丸となって支援する仕組みが整いました。同時に、学部教育の成果を卒業後の赤十字病院での現任教育に効果的につなぐ活動も推進しています。

“病気で苦しんでいる人の助けになりたい”“災害に遭った方々の役に立ちたい”“将来は途上国の人々の健康のために働きたい”、このような夢・目標を持っている方にとっては、本学で看護学を学ぶことが確かな将来の礎を築く第一歩になるはずです。看護の道を目指している皆様が、やがて看護のプロフェッショナルとしての自己実現を果たし、社会に貢献してくださることを願っています。

学部長メッセージ

皆さんの夢を支援します!

日本赤十字九州国際看護大学

学部長　中村 光江

MITSUE NAKAMURA

本学は創立19年を迎え、多くの優秀な卒業生が国内外で活躍しています。在校生も看護の学習はもちろん、国内外のボランティア活動に熱心に取り組んでいます。最近では、平成28年4月の熊本地震や平成29年7月の九州北部豪雨、平成30年西日本豪雨の発災時に、学生復興支援委員会を中心に支援活動に取り組み、現在も活動を継続しています。

看護は「苦しんでいる人を助けたい」という人間愛に基づいています。この人間愛は赤十字の基本理念である「人道」と共通しています。その役割は社会の変化に伴って広がってきています。活躍の場も医療施設・地域社会・国際社会と多岐にわたっており、今後も大いに発展していくことでしょう。

看護師には、これまで以上にグローバルな視点から専門的知識や技術が必要とされるようになります。社会の変化に適応するための柔軟な思考力や、苦しさを抱える人々に寄り添うための人間力も重要です。本学で学ぶ意味は、グローバルな視野や教養に裏打ちされた高度な看護実践力の基礎を身につけることができること、そして専門職として生涯を通して成長していくための基盤を培うことができることです。

皆さんは将来にどのような夢や目標をお持ちですか?

私たちは、皆さんが夢や目標に向かって着実に進んでいけるよう全力で支援します。そのために、継続して組織的に教育の質向上に取り組んでいます。教職員も研鑽に励み、自分自身の成長と皆さんを支援するための能力向上に努めています。

是非、本学であなたの夢に向かって進んでいきましょう!

History 沿革

本学の建学は、平成10年（1998年）3月、日本赤十字社が策定した「21世紀に向けての日本赤十字社の総合戦略」と看護職員養成についての「赤十字施設などで求められる看護指導者や国際的に活躍できる看護師養成のため、赤十字看護大学の設置に関わる基本計画」によるものです。この基本計画に基づき学校法人日本赤十字学園の第4番目の看護学部看護学科として九州に開設されました。

1890 日本赤十字社病院にて看護婦の養成を開始

2001.4 日本赤十字九州国際看護大学 開学

2007.4 日本赤十字九州国際看護大学
大学院看護学研究科 開設

2009.10 文部科学大臣から大学院看護学研究科看護学専攻（助産コース）開設の認可を受ける

2010.6 看護継続教育センターにおいて救急看護認定看護師教育課程開講

2010.9 創立10周年記念式典開催

2012.12 西日本新聞社との包括的連携協力協定締結

2013.4 国際看護実践研究センター 開所

2016.3 公益財団法人大学基準協会における大学評価の結果、大学基準に適合していると認定される。
認定期間は2016年4月1日から2023年3月31日まで

2016.4 日本赤十字九州国際看護大学
大学院共同看護学専攻博士課程 開設

2016 文部科学省大学教育再生加速プログラム「テーマV 卒業時における質保証の取組の強化」に採択される

2017.3 日本赤十字九州国際看護大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程において専門看護師教育課程（クリティカルケア看護および在宅看護）認定（日本看護系大学協議会）

2017 第46回フローレンス・ナイチンゲール記章*を、本学大学院1期修了生である伊藤明子氏が受章

2018 大学院講義室・研究室 移転

2019 第47回フローレンス・ナイチンゲール記章*を、本学の前学長である竹下喜久子氏が受章

＊フローレンス・ナイチンゲール記章

傷病者の看護の向上に献身し、人道の精神のもとに近代看護の礎を築いたナイチンゲール女史の偉大な功績を記念し、赤十字国際委員会（ICRC）が看護活動に顕著な功労のある方に贈るもので、看護の分野では国際的に最も名誉ある章です。日本人受章者に対しては、日本赤十字社の名誉総裁である皇后陛下より授与されます。

Policy 看護学部看護学科の方針

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

本学の看護学部で学ぶ学生には、このような人を求める。

1. 人間の尊厳と人権を大切にできる人
2. 主体的、創造的に考え行動しようとする人
3. 看護の基盤となる広い教養を学び専門的知識を身につけたい人
4. 赤十字の理念を理解し国際的活動に関心を持っている人

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

本学では、カリキュラムの編成・実施方針を以下のとおり定める。

1. カリキュラムは赤十字の理念を基盤として、その編成の主要概念を「人間」「環境」「健康」「国際」「看護」の5つとし、科目区分は『リベラルアーツ・専門基礎科目』『専門科目』とする。
2. 『リベラルアーツ・専門基礎科目』は、「人間」「環境」「健康」「国際」により構成し、もう一つの主要概念の「看護」と有機的に連携を保つ。
3. 看護『専門科目』は、「看護の基盤」「看護の展開と応用」「看護の統合」に細分し、さらに看護学演習科目・実習科目についてはI～Vのレベルで、段階的に学修をすすめる。
4. 赤十字関連科目をはじめ『リベラルアーツ・専門基礎科目』『専門科目』の多くの科目を通じて【人間の尊厳と権利を擁護する力】を育む。
5. 初年次教育科目等によって、主体的・自立的学修スキルを身に付け、学年進行とともに【自己教育力】および【問題解決力】を段階的に育成する。
6. 講義科目においては、知識を得ることにとどまらず、知識を活用する思考力の育成まで含めた授業として計画・実施し、【問題解決力】を強化する。この評価には多元的評価を用いる。
7. 基礎力総合ゼミナール等の演習科目や看護学演習・実習科目におけるグループ討議や少人数での学びあいによって【チームで働く力】を強化する。
8. 看護学およびその他諸学の知識を統合し、自らの看護実践力を向上させるとともに、グローバルな視点で将来の看護学の発展を思考する「看護の統合」科目を通じて【看護の専門性を探究する力】を育成する。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

本学ではディプロマ・ポリシーとして、卒業認定・学位授与に関する以下の方針を定めている。
所定の単位を修め、次の能力を身につけた者に学士（看護学）の学位を授与する。

1. **人間の尊厳と権利を擁護する力**
   (1)幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。
   (2)赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。
2. **自己教育力**
   (1)自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。
   (2)自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。
3. **チームで働く力**
   (1)集団の中で自己の果たしうる役割を理解し、他者と協働することができる。
   (2)グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。
4. **問題解決力**
   (1)人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。
   (2)グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。
5. **看護の専門性を探求する力**
   (1)看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。
   (2)看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

アセスメント・ポリシー

本学は、学士課程の教育の質を保証するために、以下の3つをアセスメント・ポリシーとする。

1. 教育実践の評価は、多様な観点と手法を用いたセメスター毎の総合評価とその結果としての教育改善のサイクルに対して行うものとする。学修の質量の向上、具体的には、主体的学修の促進と学修時間の増加という目的を達成するために、シラバスの充実（授業計画、成績評価方法、自己学修への示唆等の情報の提示）、学生と教員双方からのインターアクションを可能にする授業活動の推進、多元的成績評価、などをどの程度行ったかを主たる基準とする。
2. 学生の学修成果の評価は、ディプロマ・ポリシーの到達目標の達成度に対して行うものとする。卒業年度に履修する専門性の高い科目についてはディプロマ・ポリシーに準拠したルーブリック評価を用いて評価を実施する。尚、評価の結果は、ディプロマ・ポリシーの妥当性検証の資料とする。
3. カリキュラム評価は、セメスター毎に認識された問題点や成果を教員間で共有し協議することによって行い、次年度の計画に生かす（形成的評価）。原則として4年毎に、毎年の教育実践評価に加え、学生による評価、卒業生および就職先等の第3者による評価を取り入れて、カリキュラムの総括評価を行う。

MESSAGE

さまざまな分野の第一線で活躍する卒業生

看護師

福岡赤十字病院 外科病棟

池田 尚大さん

2005年卒業1期生　広島県・廿日市高等学校出身

遥碧会(日本赤十字九州国際看護大学同窓会)会長

2016年4月
熊本、大分地震後の
現場で活動する様子

小児科、循環器集中治療室、手術室の経験を経て、現在は外科病棟に勤務しています。

日々変化、進歩する医療と看護の現場で看護師として10年以上経った今でも勉強の日々です。しかし、患者家族とともに困難を乗り越え、心温まる言葉や笑顔を頂くことは、看護師として働く最大の魅力であり、達成感と充実感、働く活力となっています。

複雑な医療社会となっている現在、より高い専門的な知識、技術を習得することは専門職として必須です。自身のもつ**知識、技術、感性、経験を駆使して、患者家族とともに疾患と向き合い希望する生活を支援していく**ことが、看護師として求められています。医療施設から地域、自宅へと医療の現場が拡大している現代において、医師やコメディカルと連携を図り患者中心の医療を提供するため、**看護師が医療をマネジメントし協働**していかなければなりません。その中で、高いコミュニケーション能力やマネジメント能力も必要です。看護管理者としての役割も少しずつ担うようになり、そのような視点も持ち研鑽しながら医療チームの一員として看護を実践しています。

助教

日本赤十字九州国際看護大学 国際看護領域

宇都宮 真由子助教

2006年卒業2期生　佐賀県・致遠館高等学校出身

本学2期生として卒業後、武蔵野赤十字病院救命救急センターICUで看護師として働き、その後青年海外協力隊で、西アフリカのセネガルで看護師隊員として活動に従事しました。セネガルでは現地の診療所にて医療サービスの質の向上・改善(5S、業務改善など)の活動を行い、地元の方と生活しながら、「幸せとは何か」「看護とは何か」を見つめ合う日々でした。学生時代の夢であった**「救急で働くこと」**と**「海外で看護をすること」**を達成し、セネガルでの経験をもとに「看護人材を正しく育てることで多くの人々の健康を守ることにつながるということ」を実感し、教育分野に興味を持ち、新たな夢の**「人材を育成すること」**に辿り着きました。教員として本学に戻り、大学院で看護教育を学び、私生活でも子供も育てることで、更に「人を育てること」の重要性を見出している日々です。大学で学んだことをベースとし、今も学生と共に成長し続けています。

保健師

山鹿市役所 健康増進課　**加藤 愛**さん(旧姓 坂本)　2014年卒業

さまざまな住民の方と一緒に健康を考えていきたい。

私は看護師として熊本赤十字病院で4年間勤務した後、保健師として山鹿市役所に入職しました。健診や訪問を通して、疾病予防と健康の維持・増進のために継続して市民と関わることができる保健師の仕事にやりがいを感じています。保健師は、妊婦・乳幼児から高齢者まで幅広い年代の市民と関わり、他職種・他機関との連携が必要であるため、**高いコミュニケーション能力**が求められます。外国人との関わりでは、大学の課外授業を活用してTOEICで925点を取得できたことが自信となり、**海外研修や授業で学んだ異文化理解**が大いに役に立っています。市民の立場に立ち、共に考え、悩み、寄り添える保健師になれるように成長していきたいと思います。

助産師

日本赤十字社医療センター　**吉田 もも**さん　2017年大学院修了

探究心を活かし、やりがいのある毎日です。

私は本学卒業後、生涯発達看護(助産専攻)領域に進学しました。大学院では、ディスカッションやプレゼンテーションを通して疑問を見つけ、探求し、他者に分かりやすく伝える力が求められました。様々な領域で経験を持つ同期との院生生活は、**毎日が刺激的で、幅広い視野で物事を視る**必要性を学びました。

現在、助産師国家資格を取得し、スーパー総合周産期センターの役割を有する総合病院に勤務しています。今後、大学院で学んだ知識や技術を基礎として、**褥婦さんとその家族が楽しく育児ができるように**一緒に考え、叶えられる助産師に成長していきたいと思います。

看護師

熊本赤十字病院　**江上 茉莉**さん　2016年卒業

気持ちを考えて行動する看護が日々生かされています。

私は熊本赤十字病院の外科病棟で働いています。周術期の患者さんが多く入院されますので、**手術を控え不安を抱える気持ちを受け止め、安心・安楽な看護を提供し**ています。術後は痛みを抱えながらも早期離床に励み、回復し笑顔で退院されていく姿を見ると、とても嬉しく思います。

大学時代は日々の学習に加え、サークル活動へも全力で取り組み、そこでの学びや体験は今も私の看護観に大きな影響を与えています。**大学で学んだ知識や出会った仲間は大きな財産です**。今後もそんな財産を大切に、日々の看護を通して成長していきたいと思います。

看護職進路図

一人ひとりが専門性を発揮しながら社会に変化を生み出せるように、力強くアシストします。

赤十字病院のPOINT
段階的キャリアアップ
▶▶▶P34

大学（看護学部）卒業後の進路

- 看護師　赤十字病院/総合病院/大学病院/訪問介護ステーション/NPO/NGOなど
- 保健師　保健所・保健センター・企業・大学など
- 保健師 ▶ 養護教諭二種・第一種衛生管理者　小学校・中学校・高等学校・企業など

※教育職員免許法で定められた科目の履修により、養護教諭二種免許取得可能
※保健師資格取得後、申請により第一種衛生管理者取得可能

大学院修了後の進路

- 専門看護師認定審査（CNS）※日本看護協会認定資格試験 ▶ 専門看護師（CNS）在宅看護・クリティカルケア看護
- 助産師国家試験 ▶ 助産師
- 助産師 ▶ 受胎調節実地指導員

日本赤十字九州国際看護大学
看護学部看護学科

4年間
入学定員100名　収容定員400名

看護師	国家試験受験資格
保健師	国家試験受験資格

※保健師コースは、3年次前期に希望者より18名選抜

日本赤十字九州国際看護大学
大学院 看護学専攻
修士課程

標準修業年限2年間
入学定員10名　収容定員20名

- 保健コース
- 看護コース
- CNSコース 在宅看護・クリティカルケア看護
- 助産教育コース

日本赤十字九州国際看護大学
大学院 共同看護学専攻
博士課程

標準修業年限3年間
入学定員2名　収容定員6名

- 日本赤十字学園5大学が連携した教育・研究指導

［ 取得可能な資格 ］

看護学部
看護師国家試験受験資格

※選択制
保健師国家試験受験資格
通常の卒業要件＋保健師コース選択科目履修

保健師資格取得後、申請
養護教諭二種
教育職員免許法による科目履修（本学で在学中に履修可）
第一種衛生管理者

看護学部 その他の資格
赤十字救急法救急員
一次救命処置（心肺蘇生AEDの使用方法）等

大学院（修士）国家試験受験資格
助産師
※助産教育コース

大学での学び

大学 看護学部看護学科（看護師・保健師※）

学位 **学士（看護学）**　※保健師課程コースは、3年次前期に試験選抜（希望者より18名以内）

リベラルアーツ・専門基礎科目 **45** 単位以上
専門科目 **79** 単位以上

保健師になるには

通常卒業要件 **124** 単位 ＋ 保健師コース選択科目の履修（公衆衛生看護学に関する科目） ＝ 看護師・保健師（2つの国家試験受験が可能！）

保健師課程では、講義、演習、実習を通して、地域診断や地域のグループ支援・組織化、家庭訪問、健康相談、健康教育、健康検査など、保健師活動の理論と方法について学び、産業保健師や、医療機関で活動する保健師などとしての基礎的能力を身につけます。保健師の免許を取得するには、看護師免許の取得が前提条件です。

※4年次4月に保健師教育履修料10万円を納入していただきます。

大学院 看護学専攻 修士課程

	保健コース	看護コース			CNSコース		助産教育コース
学位	修士（保健学）	修士（看護学）					
領域	国際保健	生涯発達看護	広域看護	基盤看護	クリティカルケア看護	在宅看護	助産教育
	・災害/国際協力 ・ヘルスプロモーション	・成育看護 ・成人看護（慢性） ・老年看護	・クリティカルケア ・メンタルヘルスケア ・在宅ケア	・看護管理 ・看護教育 ・看護倫理			

助産師になるには

看護師資格 ＋ 助産教育コース 取得に必要な **28** 単位 ＝ 助産師（国家試験受験が可能！）

開設当初から学部内で助産師コースを開設し、2010年に九州で初めて大学院での助産師教育を始め、助産学のエキスパートを多数輩出してきました。国際協力など経験豊かな教員が在籍し、赤十字のネットワークを生かした実習環境で学べます。また、助産師国家試験受験資格のほかに、研究活動や修士論文作成を経て、「修士号」の学位を取得できます。

大学院 共同看護学専攻 博士課程

学位 博士（看護学）
共同教育課程

カリキュラム

科目履修系統図

4年 後期

環境	健康	国際	看護の基盤	看護の統合	保健師（選択）
法と看護	疫学Ⅱ ※	看護・医療英語	キャリアデザインⅡ	○看護技術Ⅴ ○卒業研究 ★ 看護教育 看護政策 ○災害と看護	

4年 前期

健康	看護の統合	保健師（選択）
疾病と治療Ⅴ	○看護の統合実習 ○地域包括ケア実習 ○専門性強化演習Ⅱ ○卒業研究 ★ 国際保健・看護Ⅲ	公衆衛生看護実習 ※ 公衆衛生看護Ⅲ ※

3年 後期

人間	環境	国際	看護の展開と応用	看護の統合	保健師（選択）
プレゼンテーションスキルズⅡ		医療人類学 赤十字活動Ⅱ	○精神保健看護実習 ○在宅看護実習 ○クリティカルケア実習 ○老年看護実習 ○成育看護実習 ○専門性強化演習Ⅰ	○看護研究方法 ★ ○看護管理	公衆衛生看護Ⅱ ※ 公衆衛生看護Ⅰ ※

3年 前期

環境	国際	看護の展開と応用	看護の統合
保健医療福祉行政論 ※	国際開発論 ジェンダー論 英語Ⅳ	○看護技術Ⅳ ○地域看護Ⅱ ○精神保健看護Ⅱ ○在宅看護Ⅱ ○クリティカルケアⅡ ○老年看護Ⅱ ○小児看護Ⅱ ○母性看護Ⅱ ○リハビリテーション論	○看護研究方法 ★ 緩和ケア 国際保健・看護Ⅱ

2年 後期

人間	環境	健康	国際	看護の基盤	看護の展開と応用	看護の統合
○生命倫理	○社会福祉学	食生活論 ○保健統計学 疫学Ⅰ ※		○キャリアデザインⅠ ○看護理論の基礎	○慢性看護実習 ○看護技術Ⅲ ○地域看護Ⅰ 家族看護 ※ ○がん看護 ○精神保健看護Ⅰ ○在宅看護Ⅰ ○クリティカルケアⅠ ○老年看護Ⅰ ○小児看護Ⅰ ○母性看護Ⅰ ○慢性看護Ⅱ	○国際保健・看護Ⅰ

2年 前期

人間	環境	健康	国際	看護の基盤	看護の展開と応用	看護の統合
教育学	看護・医療情報	○統計学 ○疾病と治療Ⅳ ○疾病と治療Ⅲ ○疾病と治療Ⅱ ○人体と薬物 ○健康行動論	韓国語Ⅱ スペイン語Ⅱ フランス語Ⅱ 英語Ⅲ	○看護過程の展開実習 ○治療検査と看護 ○看護技術Ⅱ ○看護過程	○慢性看護Ⅰ	○看護とリスクマネジメント

1年 後期

人間	環境	健康	国際	看護の基盤
○人体の構造と機能Ⅳ ○人体の構造と機能Ⅲ ○生化学 ○遺伝学 ○基礎力総合ゼミナールⅡ プレゼンテーションスキルズⅠ	○社会学 ○生物／化学（ヒトの生命現象）	人間工学 ○疾病と治療Ⅰ ○感染と防御 ○病態生理学 ○運動機能論	ボランティア論 韓国語Ⅰ スペイン語Ⅰ フランス語Ⅰ 異文化間コミュニケーション ○英語Ⅱ	○看護コミュニケーション ○フィジカルアセスメント

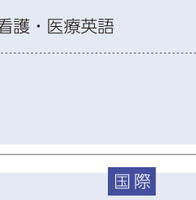
1年 前期

人間	環境	健康	国際	看護の基盤
○人体の構造と機能Ⅱ ○人体の構造と機能Ⅰ ○基礎力総合ゼミナールⅠ ○アカデミック・ライティング ○人間関係論 ○心理学 哲学	○情報機器の操作 日本国憲法 ※ 物理 化学 生物	○栄養学 ○医療概論	○赤十字救護・援助法 赤十字活動Ⅰ ○赤十字概論 ○英語Ⅰ	○日常生活援助実習 ○看護技術Ⅰ ○看護学概論

環境 人間 健康 国際 リベラルアーツ・専門基礎　専門科目　○必修　※保健師選択学生は必修（それ以外の学生は選択）　★通年

カリキュラムの構成概念

本学では、カリキュラム編成の基本となる主要概念を、「人間」「環境」「健康」「国際」「看護」としています。
これら5つの主要概念に基づいて、学生は次のことを学びます。



看護 NURSING

人間に対する深い理解と生命の尊厳への敬意に基づき、個人と集団の健康を促進するために、個別性を尊重して支援することのできる知識と技能を身につける。
主に講義・演習の科目では、人々が望ましい健康状態を自ら回復・保持・増進する過程、あるいは、尊厳ある死に至る過程を援助するために、援助的人間関係、人間・社会に対する総合的理解、健康問題に対する科学的分析方法、それらに支えられる看護実践、および、実践の中に課題を発見し研究するための方法論を学ぶ。
実習では、学習した知識と技術、陶冶した理知と感性を統合し、家庭・地域・病院をはじめ、国内外のあらゆる場で科学的看護を実践できる基礎を身につける。

国際 GLOBAL SOCIETY

赤十字の基本原則である人道の精神に基づき、文化背景や社会状況の異なる場面や非常事態においても適切な看護活動を行うことを可能にする知識・技能・想像力を涵養する。人道の精神に基づく国際的非営利団体として最長の活動歴を持つ赤十字の組織と実績について知り、その精神を内在化する。赤十字の国際活動、また、多文化の程度を強める社会における看護実践において中核的役割を担うための基礎力として、外国語技能を含むコミュニケーション能力、国際情勢や世界の保健医療状態を知るための情報処理技能、異文化理解技能を獲得する。看護専門職として指導性を発揮するための基礎力として、国際開発・国際協力の理論と実践、世界の保健医療状況とプライマリーヘルスケアについて学ぶ。

人間 HUMAN

人間の本質、生命の尊厳、人間社会、環境について学び、かけがえのない命を生きる存在として一人ひとりの人間を尊重する態度を身につける。自然、社会、文化、歴史の中で、誕生から死に至るライフサイクルを通して成長し変化する人間のあり方についての知識を獲得し、人間を総合的に観察し理解する基礎力を獲得する。

環境 ENVIRONMENT

人間の生活様式、思想、感情、健康状態など、人間存在のあらゆる面に影響し変化させる自然環境・社会環境と人間との関わりを観察する力、特に環境と健康との関わりを認識し対応する力を身につけるために、政治・経済・文化・教育・保健医療・福祉にかかわる概念と理論を学び、考察する力を身につける。

健康 HEALTH

人間が環境との相互作用の中で適応している状態、すなわち「健康」という、看護の根本的目的を達成するために、健康に関連する概念・理論・調査研究方法を学んで、健康回復・保持・増進と生活行動との関係、健康障害とその回復過程、統計資料をはじめとする健康関連事象の指標を理解する力を身につける。

授業科目の区分

授業科目は、5つの主要概念に基づいて、次のように構成しています。

リベラルアーツ・専門基礎科目

リベラルアーツは私たちが生涯をかけて学んでいくべき人類の「知」であり、これらを身につけることによって人間として、人間らしく生きていくための人間力が形成される。この人間力を基礎力として、看護専門科目の基礎となる自然科学・社会科学・人文科学の各科目を専門基礎科目として学ぶ。

専門基礎科目	自然科学系	人体の構造と機能、遺伝学、生物／化学（ヒトの生命現象）、感染と防御、人体と薬物、疾病と治療、人間工学など
	社会科学系	社会学、法と看護、社会福祉学、統計学、保健統計学、ジェンダー論、国際開発論など
	人文科学系	哲学、生命倫理、心理学、医療概論、医療人類学など
リベラルアーツ科目		人間関係論、アカデミック・ライティング、プレゼンテーションスキルズ、基礎力総合ゼミナール、健康行動論、栄養学、英語、フランス語、スペイン語、韓国語、赤十字活動、ボランティア論など

専門科目

専門科目は、看護学を理論と実践が統合されたものとして学修し、研究的に探求するための科目である。

専門科目	看護の基盤	看護学の基盤と位置づけ、看護の概念と人間の尊厳を基本とした援助の本質として「看護学概論」「看護理論の基礎」などを設定する。また、あらゆる看護場面に共通する看護の方法を学ぶための演習科目として「看護技術」「フィジカルアセスメント」「看護過程」さらに、実習科目として「日常生活援助実習」「看護過程の展開実習」などを設ける。
	看護の展開と応用	看護の基盤での科目を展開・応用する科目群として位置づけ、様々な場でのあらゆるライフステージにある個人および集団に対して、健康の維持増進・疾病の予防と治療・安らかな死を迎えるための援助に必要な科目として「慢性看護」「老年看護」「母性看護」「小児看護」「クリティカルケア」「在宅看護」「精神保健看護」「地域看護」などを設定する。さらに、これらの科目に対応した実習科目を設定している。
	看護の統合	既習の看護学およびその他諸学の知識を統合する科目群として位置づけ、自らの看護を向上させるとともに、グローバルな視点で将来の看護学の発展に資する基礎的能力および応用能力を身につけるための科目として、「国際保健・看護」「看護政策」「看護とリスクマネジメント」「看護教育」「看護研究方法」などを設ける。また、自らの看護の統合と、専門性の強化を目指す「看護の統合実習」「地域包括ケア実習」を設定している。
	保健師（選択）	保健師活動の基盤として位置づけ、質の高い生活によって健康を作り上げるための科目として、個人だけでなく地域社会をも対象に地域概要の把握から施策実行までを行う能力を身につけるための「公衆衛生看護」「公衆衛生看護実習」を設定している。

看護学部 領域別教育体制

リベラルアーツから看護専門教育まで幅広く対応しています。

2019年度

2019年4月1日現在

	リベラルアーツ・専門基礎		看護の基盤	成育看護		老年・慢性看護	
教授	鈴木 清史 髙瀬 文広	柳井 圭子 守山 正樹 吉永 宗義	本田 多美枝 倉岡 有美子	大重 育美	永松 美雪	姫野 稔子	中村 光江
准教授	力武 由美		阿部 オリエ		石山 さゆり	原田 紀美枝	
講師			小手川 良江				西山 陽子
助教		木村 涼平	鬼丸 美紀 隈井 寛子 高堂 香菜子 添田 梨香	松中 枝理子	園田 希 中村 美佳	千原 明美	山本 孝治
助手			福本 優子	東 優里子	橋本 真貴子	山内 多恵	
	ヘルスプロモーション・在宅看護		メンタルヘルス	クリティカルケア・災害看護		国際看護	
教授			髙橋 清美			小川 里美	
准教授	緒方 文子	西村 和美	石飛 マリコ				
講師		西尾 美登里		苑田 裕樹			
助教		上野 満里	髙瀬 理恵子	小川 紀子		宇都宮 真由子	
助手				衛藤 泰秀			

看護学部看護学科

学士課程

4年制 1学年 定員100名

1年次から4年次まで、講義、演習、実習を繰り返し行うことで、豊かな人間性、知識、関係構築力、看護技術などを身につけていきます。

看護学科

1年次

豊かな心を育み、看護の基礎となる人間力を養う。

リベラルアーツ科目の充実によって、科学的・論理的思考を促し、看護の基盤となる人間力の形成をはかります。さらに自然科学・社会科学・人文科学の各科目を学び、少人数制のゼミで主体的・自立的に学習をすすめる能力を養います。看護師に必要な知識を学び、関連させながら看護技術の原理原則を学びます。実習との連動を強化しており、学んだ知識・技術を基に臨床で看護を実践します。看護ケアの必要性を判断する基本的診査技法も、1年次より修得します。

特徴ある科目紹介

少人数制「ゼミナール」で養う積極的な学び

基礎力総合ゼミナールⅠ・Ⅱ

- 少人数制で学び方から指導
- 15名の担当教員が演習支援
- 早期より人間力を育成

基礎力総合ゼミナールⅠでは大学生としての学修方法を認識し、積極的に学ぶ姿勢を身につけます。生活環境を整えて、授業への取り組み方、情報検索の基礎知識などを身につけます。基礎力総合ゼミナールⅡでは学修スキルを身につけるために、各種情報検索、文献理解、文章作成、プレゼンテーション、ディスカッション等の技能を学びます。テーマに対して適切な情報を収集し、意見を述べ、建設的なディスカッションや、他者にも分かりやすいレポートを作成することを目指します。15名の担当教員により、年間を通して演習支援をします。

看護の基礎となる知識・技術・人間力の育成

ボランティア論

国際交流・支援、災害救援・支援、NGO・NPOについて学習し、地域活動へ理解を深め、実践力を身につけるため、ボランティア経験者の聞き取りや体験学習を行います。

人間関係論

人間関係を築くことは、健康の維持向上を援助する看護師に欠かせません。円滑な関係づくりの実践を目的とし、演習を中心に学習します。

人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

人体の構造と機能の理解は、人の疾病、治療、看護を考える基礎となります。人体の調節機能の不思議を知り、それを学ぶ意義を理解します。

疾病と治療Ⅰ

「人体の構造と機能」で学習した知識をもとに、循環器系、呼吸器系、消化器系疾患の病因、症状、検査法、治療法について学習します。

赤十字救護・援助法

具体的な救急法の知識、技術を習得し、災害・事故防止の思想と互いに助け合うボランティアの精神を理解し、行動できるよう学習します。

フィジカルアセスメント

「人体の構造と機能」や「疾病と治療」で学習した知識をもとに、看護ケアの必要性を判断する基本的診査技法を修得します。

POINT 医療の専門家として活躍するために必要な基礎力を、1年次より丁寧に徹底して身につけます。

1年生の時間割例

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	人体の構造と機能Ⅰ	アカデミック・ライティング	英語Ⅰ	看護学概論	日本国憲法
2	哲学	看護学概論	人体の構造と機能Ⅰ	人体の構造と機能Ⅰ	
3		基礎力総合ゼミナールⅠ	赤十字概論	生物	赤十字概論
4	基礎力総合ゼミナールⅠB	人間関係論	化学	栄養学	赤十字概論
5	心理学	人間関係論	奨学金説明会	栄養学	

看護学科

2年次

演習・実習を通し、科学的思考に基づく看護の実践力を養う。

看護に必要なコミュニケーション能力やアセスメント能力を強化するために、知識だけではなく、段階的に臨地実習を配置し、病院・施設での看護から、地域で生活するひとへの看護まで幅広く展開します。また、グローバル化の時代に対応するために、語学力の習得や、国際看護にも力を入れており、柔軟なモノの考え方を身に着けます。

特徴ある科目紹介

看護計画を立て、実践し、擁護する力を養う

人体と薬物

看護師の視点から、薬が人体に吸収され、臓器に達し、効果を発揮し体外へ排泄されるまでの「薬の一生」を学びます。薬物療法が中心となる現在の医療において、医療チームの一員である看護師として、必要な知識を身につけます。

慢性看護実習

慢性病とともに生きる人を支援する看護を学びます。その人の病気や生活史を長期的視点から捉え、個別性を尊重する看護を身につけます。

看護過程の展開実習

健康障害のある対象者を受け持ち、人間関係を築きながら看護過程を展開します。学んだ知識や技術を活用して対象者を理解し、必要な援助を考え実践することを通して自分自身と向き合い、今後の学習の方向性や目標を見つめる機会となります。

グローバルで柔軟な視点や、言語力の育成

スペイン語Ⅱ

グローバル化の時代に対応するために、英語・スペイン語・フランス語・韓国語など、多様な言語を学べるよう科目設定されています。4年次には看護・医療英語も学べます。

国際保健・看護Ⅰ

世界の健康問題・看護について多角的な視点から学習します。赤十字の国際活動と関連する紛争、難民、開発協力等についても学びます。講義の後半では、実際に遭遇するであろう国際保健・看護の事例についてグループで検討します。

VOICE > 安谷屋 星 さん 沖縄県・那覇高等学校出身　サポート体制が充実して、赤十字独自の知識と技術が学べます。

2年に進級し、1年次に比べ、課題量が増えるため隙間時間の有効活用を意識するようになりました。現在、1年次で学んだことを基礎として、専門的な分野を学び始めました。分からないことがあるとグループの友人と助けあい、先生方や先輩方からのアドバイスを頂いています。この大学では、国際看護コースなど、様々な選択肢があるので、自分の興味のある分野を全うできる大学だと思い、一年前より視野が広くなりました。沖縄県支部生として進学させて頂いた事に感謝し、これからも充実した学生生活を送りたいと思います。

2年生の時間割例

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1		看護過程/合同	看護技術Ⅱ	看護過程	
2		看護過程/合同	看護技術Ⅱ		
3	治療検査と看護		看護技術Ⅱ	疾病と治療Ⅱ（脳・感）	治療検査と看護
4		健康行動論		疾病と治療Ⅱ（脳・感）	
5	疾病と治療Ⅳ（血液）	統計学			

看護学科

3年次

健康レベル、ライフステージ、個・集団など、対象の特性に応じた看護の展開能力を養う。

講義、演習で得た知識や技術を、さまざまな健康状態にある人々、さまざまな場で看護を必要とする人々に対して臨地実習を通じて展開します。実習は、少人数のグループで配置され、教員、臨地実習指導者の連携による細やかな指導を受けることができます。これまでに学んだ看護の基礎的な知識・技術を応用し、成育看護実習や精神保健看護実習など領域の全く異なる分野で看護を体験することで、より専門的な知識・技術を身につけることができます。

特徴ある科目紹介

対象のさまざまな特性や、あらゆる状況に応じた「看護の知識を深める」ための科目を多く設定

看護技術Ⅳ

健康レベル、ライフステージ、個もしくは集団など、対象の特性に対して、適切な看護を行うための看護技術を習得します。

国際保健・看護Ⅱ

世界各国における保健衛生の現状や課題、関連する要因について基礎的な理解を深め、人々の健康問題に関与する国際保健・看護の特性を学びます。海外研修も行います。

看護管理

質の高い看護サービスを提供するためのシステムやマネジメントに必要な知識を学習しリーダーシップやマネジメントを理解します。

VOICE > 清水 由羽 さん 長崎県・長崎商業高等学校出身　この大学で出来ること。

赤十字という繋がりを通して、同じ志を持つ全国の日本赤十字学園の大学の学生と出会うことができ、とても良い刺激を受けました。また、臨床の現場で活躍してこられた経験豊富な先生方からお話しを聞くことで、将来の看護師としての幅が広がりました。看護師になるという同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨できることもこの大学の魅力だと思います。3年次では、今まで以上に専門的かつ実践的な看護を学ぶ機会が増え、長期間の実習も始まります。看護師になる自覚と責任も強くなり、大きく成長できる時期だと思います。看護の勉強はもちろんですが、サークルや課外活動などの様々なことにも積極的に挑戦し、充実した大学生活を送りたいです。

3年生の時間割例

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			英語Ⅳ	国際開発論	ジェンダー論
2	リハビリテーション論	小児看護Ⅱ	保健医療福祉行政論	地域看護Ⅱ	精神保健看護Ⅱ
3	母性看護Ⅱ	老年看護Ⅱ	在宅看護Ⅱ		看護技術Ⅳ
4	看護研究方法	母性看護Ⅱ	クリティカルケアⅡ		
5					

看護学科

4年次

看護を自ら探求し、創造的に考え、実践できる能力を養う。

学生が自ら企画・実施・評価を行う実習、保健医療福祉分野との連携を実践する実習など現代の医療情勢、現場での実際の業務に即した実習を配し、国際救援や災害救護をはじめ、医療施設・地域保健などの幅広い分野に対応できる能力を養います。
また、4年間看護学を学んできた集大成として卒業研究があります。少人数のゼミによる研究指導により、研究論文を完成させていきます。

特徴ある科目紹介

「看護実践力の向上」「グローバルな視点で看護学の発展に資する応用力」「専門性の強化」を目指す

地域包括ケア実習

地域保健福祉活動と看護職が行うケアマネジメント及び、多職種連携/協働によるチームアプローチの実際と現状について総合的に学びます。

看護の統合実習

病院・施設などで、複数の患者への看護、チームナーシングなど実践に即した実習を経験し、自己の課題を明確にし、問題解決に向けて取り組みます。

卒業研究

自身がそれまでの看護実習で発見した課題や、日頃の問題意識に基づき、研究テーマを絞り込み、担当教員の指導を受けながら解決に向けて研究を計画実施し卒業論文を完成させます。卒業研究の全過程を通して得られた学びは、看護の実践に活かされるとともに卒後の臨床での研究にもつながっていきます。

VOICE > 竹山 菜摘 さん 福岡県・香住丘高等学校出身　同じ夢や目標を持つ仲間と共に。

日本赤十字九州国際看護大学は同じ夢や目標を目指す仲間が周りにいるので日々仲間と切磋琢磨し、励まし合いながら夢を叶えることができる学校です。また災害看護領域では、災害想定訓練で健康問題だけではなく被災者の精神的ケアの大切さを学ぶことができました。4年次では卒業研究に取り組みます。3年間で築き上げた自分の看護に対する考えを改めて見なおすことができ、とても楽しく研究に取り組んでいます。卒業研究以外にも統合実習や就職活動、国家試験があり、多重課題をこなすことが大変ですが仲間や先生方の支えによって充実した日々を送っています。残り少ない学生生活を悔いのないように頑張りたいと思います。

4年生の時間割例

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			看護師模試		卒業研究
2			看護師模試		卒業研究
3	卒業研究	公衆衛生看護Ⅲ	看護師模試		
4	卒業研究	公衆衛生看護Ⅲ	看護師模試	国試対策	
5		卒業研究	看護師模試	国試対策	

国際看護コース

本学では、将来、国際協力・協働の分野において日本の看護職のリーダーとして活躍し、変容するグローバル社会、多文化共生社会に貢献できる人材を育成することを目的としたコースを設置しています。卒業後は、国際医療救援拠点病院などで勤務し、海外で災害救援や開発協力の仕事に就くことが期待されています。

01 履修科目

国際看護コースは、本学が定める卒業認定に必要な単位に加え、下表の選択科目を履修する必要があります。

		1年	2年	3年	4年
リベラルアーツ・専門基礎科目	前期	赤十字活動Ⅰ	英語Ⅲ	英語Ⅳ 国際開発論 ジェンダー論▲	
	後期	ボランティア論	異文化間ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ疫学Ⅰ	医療人類学▲ 赤十字活動Ⅱ	看護・医療英語
専門科目	前期			国際保健・看護Ⅱ	国際保健・看護Ⅲ
	後期				看護政策 看護教育

（▲…２科目から１科目以上、合計16単位）

国際保健・看護Ⅱは３年次前期に開講される科目です。
学内での講義・演習の他、開発途上国の保健・福祉の現場や赤十字・国際機関、日本のODA（政府開発援助）を訪問する海外研修を含みます。
国際保健・看護Ⅲは４年次前期に開講される科目です。自分でテーマを決め、企画・立案・実施する国内外のフィールド研修となります。
海外研修については、①国際保健・看護Ⅱの応用研修、②国際交流協定大学と実施する研修を含みます。

02 国際看護コース履修学生の選考

国際看護コースを希望する学生は選考試験に合格する必要があります。

定　員　20名程度

選考方法　２年後期に国際看護コース選考のための筆記試験および面接試験を行うとともに、2年前期までの成績をもとに総合的に判断します。

03 国際看護コースの修了

国際看護コースの科目を履修し、単位を修得することによって、卒業時には学内認定の国際看護コース修了証を得ることができます。

修　了　国際看護コース修了証

英語教育

01 本学の英語教育の目的

本学の英語教育の目的は、医療保健の専門家として国際保健・看護の現場で貢献したいと思っている人が、その夢の実現に必要な英語の力を身に付けるための基礎訓練と適切な方向付けをすることです。専門家として行うべきコミュニケーションは、身振りや気合いで何とかなるレベルを遥かに超えています。相手の発言や送られてくる連絡や関連する専門的情報を的確に理解し、言うべきことを明瞭に述べて、仕事を進めなければなりません。その力を付けるには、授業を熱心に受講することはもとより、自分で自分の学習を計画し力を伸ばしていく技能を獲得しなければなりません。本学では、1年から4年まで、それぞれの段階に応じた多様な資料や活動を通して、高度で複雑な内容を含む情報にも怯まない力と、自己学習技能を身に付けることを目指して学習します。

02 何のために英語をやるの？

英語はいらないと思っている人は少ないでしょうが、英語をなぜ勉強するのか本当にわかっている人も少ないと思います。何のために英語やるの？就職に有利だから？仕事に必要だから？外国に行くとき便利だから？どれも少しは本当ですが、真実の答ではないように思えます。英語をなぜ学ぶか。それは、より深く人の心を感じる心をつくるためです。外国語という絶壁に指をかけ、少しずつよじ登り、壁の向こうにある世界を見ようとする営みは、目に見える手がかりへの敏感さと、目に見えない世界を思い描く想像力と、かそけき動きへの感受性を育んでくれます。それらは、多くの出会いをもたらし、世界を広げ、人生を豊かにしてくれます。広い世界を見る力を持つようになった人が看護師としてもより意味のある活躍の機会を得るであろうことは、改めて言うまでもありません。

03 異文化間コミュニケーション

本学では、第２セメスターの英語選択科目「異文化間コミュニケーション」コースの一環で、海外研修を実施しています。海外の大学生と合議する経験を通して、異文化に対する想像力、観察力と自文化を客体化する能力を涵養すると同時に、英語学習を含む異文化理解スキルを磨く上での目標と方法を認識し、学習の動機と学習技能を高めることを目標としています。2018年度は本学から20名の学生が参加し、イギリス第２の都市マンチェスター市にあるサルフォード大学保健社会学部の学生と社会・文化について討議を行いました。ロンドンではナイチンゲール博物館を訪問するなど、看護の歴史についても学びました。

海外研修

「国際保健・看護」の科目では、授業の一環として海外研修を行っています。

世界の医療現場で
活躍するために必要なこと、
それは、確かな実践力と
人間への深い理解力です。

研修を通じて保健医療、看護について見識を深めるだけでなく、異文化を経験することで、看護専門職には欠かせない能力である

想像力　分析力　表現力

を高める機会となることが期待されます。

海外研修報告2018

国立アイルランガ大学（インドネシア共和国）

（研修期間 2/24 ～ 3/10）　４年生 森 駿哉さん

「インドネシアにおける高齢者看護の実際を知り、その中での看護師の役割や今後高齢化が進む看護について考察する。」をテーマに研修を行いました。インドネシアは他のアジア諸国と同様に急激な人口増加が起こっている国の1つであり、今後日本と同様に高齢化が進むと予測されていることをふまえこのテーマを設定しました。
日本の診療所と保健所の機能を併せ持つインドネシア独自の施設であるプスケスマスへの訪問や月に1度実施される検診や住民への教育「ポシアンドゥ」と呼ばれる活動に参加しました。今回の研修では、人々が日常的にアクセスする医療施設だけでなく普段は行くことのできない施設も訪問させていただくことができました。今回の学びを周囲の人達と共有しながら、この経験を生かして勉学に励みたいと思います。

ラ・ソース大学（スイス）

（研修期間 3/1 ～ 3/18）　４年生　久枝 綾音さん

「禁煙教育における看護師の役割とは」をテーマに研修を行いました。喫煙は様々な疾患を引き起こし、喫煙による健康障害は世界共通の問題です。しかし、喫煙者はニコチン依存症により禁煙を行うことは難しく他者による長期的な支援が必要となります。そこで私は研修を通して喫煙がもたらす影響や禁煙教育における看護師の役割を考察するためにこのテーマを設定しました。
今回の研修では異文化看護の大切さについても学びました。スイスは人口の約3割が他国からの移民です。文化の違いから自分が行なった看護が相手に不安や苦痛を与える場合もあります。ラ・ソース大学では異文化の看護ケアを学ぶ授業が行われており、病院では様々な言語に対応したパンフレットがあったり、患者の通訳やサポートチームをつくったりなどの対応がされていました。今後、グローバル化に伴い私たちも文化の異なる患者と接する機会が多くなると考えます。異文化を理解し尊重した看護を提供できる看護師になれるよう今後も学業に励んでいきたいです。

施設紹介

キャンパスマップ

1 オーヴァルホール

円形の開放的でゆったりとした450人収容のホールです。入学式や卒業式、講演会、シンポジウム、市民講座など、さまざまな行事の会場として、活用しています。

2 ゲート棟

北側の1・2階に図書館、南側1階にレストラン、2階に大学院、3階に学生生活に必要な手続き等の窓口(事務室)があります。

3 講義・研究棟

集中して学ぶ環境を重視した講義棟。1・2階に大小10の講義室、3・4階は教員の研究室があります。1階にある学生ラウンジは、くつろぎのスペースとして利用されています。

4 実習棟

科学的で実践的な看護師等の育成のための実習棟。病棟や家庭を模した実習室には実際の医療現場で使われている機器や装置が備えられており、実践力を磨くことができます。

講義室(講義・研究棟)

収容人数20～30名程度の小規模なものから、130名程度の大規模なものまで揃っています。大規模な講義室では、部屋の前と中間にスクリーンが配置され、遠くでもパワーポイント等が見えるような設備が整っています。

CALL教室(実習棟)

多目的スペースを教室の中心に配し、その周囲を発音・発声練習プログラム、TOEIC・TOEFL受験準備用プログラム等のe-ラーニングシステムが内蔵されたコンピューター54台が囲み、教室の壁面3カ所にはプロジェクター&スクリーンが設置された発信型多目的視聴覚教室です。学生の自主的語学学習はもとより、授業での英語のプレゼンテーションやディスカッション、学生主体のスピーキング活動等、明るく開かれたコミュニケーションスペースとして活用されています。

情報処理室(実習棟)

情報処理の基礎技術を学ぶための設備が整えられています。情報ガイダンスや、授業でのグループワークにも活用され、授業以外の時間でも自由に利用できます。また、学生一人ひとりにメールアドレスを提供し、学内LANの活用によって、情報の受発信も手軽に行えます。

シミュレーションルーム(実習棟)

高機能なシミュレーター3体を活用した教育も取り入れています。フィジカルアセスメント(身体の観察)技術の習得、救急時の対応、心電図モニターや人工呼吸器が装着されている重症患者への看護など、実践レベルでの学習が可能です。

実習室(実習棟)

病棟を模した実習室1は、看護技術の学内演習で主に利用します。
また、高齢者や障害をもつ人にやさしい環境としてのモデルルームを完備した実習室2、分娩台や沐浴台を完備した実習室3があります。

5 ラーニング・コモンズ(共同で学習するための新しい空間)

実習のまとめやプレゼンテーションの練習など、様々な形に応じたグループでのアクティブ・ラーニングができます。仲間と話し合いながら学ぶことで、新しいアイデアが浮かんだり、みんなの学ぶ姿勢に刺激を受けたり、そこで話したことをきっかけに新しい人間関係が生まれるなど出会いの場でもあります。

- パソコン貸出有り
- コピー機や豊富な参考文献
- 平日8:40～20:00利用可能
- 広くてキレイ！快適な空間

6 図書館

専門知識の修得や最新情報の入手をサポートする図書館。大学正面のゲート棟に位置し、約6万2千冊が所蔵可能な、明るく機能的なスペースです。医療・看護系の図書が約6割を占め、専門の知識を深く探求することができます。

赤十字に関連した図書および報告書を備えた赤十字コーナーや、災害看護・人道科学関連の図書を備えた特別コレクションコーナーのほか、看護の周辺分野である社会科学や心理学等の図書も充実しています。新着図書コーナーでは、新しく受け入れた図書や学内行事に関連した図書を展示しています。館内にある20台のパソコンでは、蔵書検索等の情報検索やインターネットが利用できます。視聴覚機器も備え、機能面での充実を図っています。

図書館文献検索ガイダンス

教員と連携して、学生の学習を支援しています。初年次の「基礎力総合ゼミナール」の授業では、図書や雑誌を検索する演習形式のガイダンスを行っており、文献を検索するための基本的な能力を身につけることができます。3年次には、専門的なデータベースの検索方法、4年次には、学生一人ひとりの研究テーマに合わせた個別指導型の文献検索ガイダンスを実施しています。学年や個人のレベルに応じた、きめ細かな支援を行っています。

7 体育館

各種スポーツができる設備を整備。バスケットで1面、バレーで2面、バドミントンで3面のコートが確保できるスペースがあります。体育の授業で使われるほかに、休日には市民に開放しています。

7 弓道場

精神を集中させて競技や練習をするにふさわしい静寂な環境が保たれています。

8 学生棟

サークル活動の拠点として、毎日活気あふれる声が響いています。室内にはロッカールームなどを完備しています。

8 キャンパスプラザ

ローマのコロシアムをイメージして造られた交流のための広場。ステージを設置してイベント会場にも利用します。

9 テニスコート

緑に囲まれた2面のテニスコート。オムニコートで、水はけもよく、使いやすいのが特徴です。体育の授業のほか、サークル活動にも使用されています。

10 グラウンド

体育の授業時には、広々としたグラウンドで、スポーツを存分に楽しんだり、心身を鍛えたり、幅広く活用されています。授業の合間にキャッチボールなどをして、気分転換を図ることもできます。

11 レストラン アスティ

軽食をはじめ、コーヒーやジュースなどのドリンク類も充実し、学生の人気を集めている「アスティ」。一番の人気は「アスティセット」です。明るく、ゆったりとした空間も魅力のひとつです。

Asty MENU

学生の健康を支えます。
ようこそレストランアスティへ

アスティセット	390円	豚肉生姜焼きカレー	490円	ミックスフライ定食	550円
さくら弁当(味噌汁付き)	450円	唐揚げカレー	490円	チャーハン(スープ付き)	400円
かけうどん	260円	親子丼(味噌汁付き)	400円	スパゲティナポリタン	420円
かきあげうどん	380円	カツ丼(味噌汁付き)	490円	スパゲティカルボナーラ	420円
丸天うどん	340円	牛丼(味噌汁付き)	450円	アスティうどナーラ	420円
エビ天うどん	380円	アスティ女子丼	420円	ライス	110円
肉うどん	380円	アスティちゃんぽん	400円	味噌汁	50円
ラーメン	400円	生姜焼き定食	500円	サラダ	120円
カレー(オリジナル)	320円	チキン南蛮定食	550円	コーヒー	150円
カツカレー	490円	ハンバーグ定食	500円	自家製ケーキ	280円
ベーコンエッグカレー	420円	トンカツ定食	500円	手造りクッキー	200円

アスティ ショップ

学生のニーズの高いものが揃っているコンビニショップです。ボリュームのあるお弁当や軽めのサンドウィッチのほか、コロッケやデザートもあります。

災害対策について

大学災害備蓄紹介

本学では、一般的な教育環境整備に加え、教職員向け救急救命研修(心肺蘇生法/AED使用方法等)の実施、非常食(災害備蓄用パン、白飯、ビスケット、飲料水等500名が3日間生活できる食料)や簡易トイレセット(簡易トイレ用テント、圧縮保管袋など約500名が3日間対応可能)を準備しています。また、赤十字組織の一員として災害備蓄品を保管し、災害発生時には救護活動に協力する体制を整備しています。

年間行事

ANNUAL EVENTS

あなたの個性が輝く、
充実したキャンパスライフ。

PICK UP!

遥碧祭「ようへきさい」

本学では、毎年秋に大学祭「遥碧祭」を行っています。遥碧祭は、学生自らが企画運営する学生生活のメインイベントといえるお祭りです。「アスティ祭」と同時開催で、地域の方々もお楽しみいただける企画が満載です。

アスティ祭

大学が所在する「アスティ21」の5企業1学1市で構成する、「むなかたリサーチパーク協議会」が、遥碧祭の開催に合わせて実施するイベントです。

CAMPUS CALENDAR

4月

入学式
オリエンテーション
前期ガイダンス
前期履修登録
前期授業開始

5月

5月1日
日本赤十字社創立記念日

6月

7月

前期期末試験

7月14日（SUN）
第1回オープンキャンパス
※詳細はHPをチェック!

8月

夏季休業
海外研修

9月

後期ガイダンス
前期授業終了
大学院入試
在学生保護者対象大学説明会

9月14日（SAT）
第2回オープンキャンパス
※詳細はHPをチェック!

10月

後期履修登録
後期授業開始
遥碧祭・アスティ祭
国際シンポジウム

11月

学部推薦入試

12月

冬季休業

大学入試センター試験利用入試

1月

後期期末試験
大学院入試

学部一般入試
後期授業終了
赤十字病院合同キャリア相談会
看護師・保健師・助産師国家試験

2月

3月

卒業式・学位授与式
春季休業
国家試験合格発表

ボランティア活動

学内献血

学内献血は、学生奉仕団献血推進部主催で行っています。日程や当日の運営方法について血液センターの方と綿密な打ち合わせをしたり、献血者を増やすために何をすべきかなどを自分たちで考えたりしながら企画・運営しています。また、深刻な血液不足という現状を変えるべく、学内だけでなく学外でも献血推進活動を行っています。

地域行事「釣川クリーン作戦」

本学が所在する宗像市と「むなかた水と緑の会」が実施する「釣川クリーン作戦」に毎年本学学生、教職員が参加しています。このイベントは、宗像市の水源である釣川周辺の清掃活動をするもので、地域の方と一緒に活動し、環境保全への熱い思いを感じるとともに、自然環境について考える機会となっています。この他、子育て支援のボランティアなどたくさんの地域活動を行っています。

「がんばれ共和国」阿蘇ぼうキャンプ

難病のこどもたちや、ご家族の方が医療のバックアップの中で、遊ぶ喜び、歌う楽しみ、そして友達とのふれあいなど、非日常の様々な体験を楽しむキャンプです。ボランティアとして参加した学生にとっても、普段の学習だけでは気づくことのできないことを体験できるとても貴重な機会となっています。 本学では、学外からのボランティア要請に対応しています。

学生の声で動き出す

（平成29年7月）
九州北部豪雨 募金活動

本学の学生サークル「KDNS - Kyushu Disaster Nursing Study group -」の学生を中心とした有志が、学内での募金活動に引き続き、大学近隣の「道の駅むなかた」、「JR博多駅」と、連続して活動を行い、炎天下の中、買い物客や会社員に大きな声で「ご協力をお願いします！」と呼びかけました。この日、博多駅での募金活動を終えた後、学生たちは日本赤十字社福岡県支部に赴き、3日間に亘り集めた募金を、同支部の事務局長に手渡しました。
KDNSサークルは、平成28年4月の熊本大地震を契機に学生自らが立ち上げた「学生復興支援委員会」から発展した学生団体で、「災害時に看護学生として何ができるか」を基盤に、日常的には学習会等の活動を展開しています。

自己啓発の糧

（北海道・秋田・東京・愛知・広島・福岡）
日本赤十字6大学 学生交流会

この交流会では、毎年、北海道・秋田・東京・愛知・広島・福岡にある日本赤十字6大学の学生が集まり、グループワークやディスカッションなどを通してそれぞれの学びや交流を深めています。今年は秋田で開催され約30人が集まり、講義や演習、実際に東日本大震災の被災地を見学し、震災から月日が経った今「復興」とは何か、皆で考え、意見交換を行い、学びを深めました。ペットボトルや小石や布を用いて水の濾過を行ったり、石油が原料の牛乳パックを燃料として用いてホットドックを作ったり、テント設営を行いました。災害時、自分自身を守ることで他の人に手を差し伸べられます。自分の身を守り生きる術を、キャンプを通して楽しく学びました。災害が多い日本において、赤十字の学生としてできることを考え積極的に活動していきたいと思います。

純心女子高等学校出身 3年生 植木 碧さん

クラブ・サークル紹介

CLUB AND CIRCLES

授業が終わったら
もう一つの私の時間。

学生自治会執行部

所属している学生全員が主体となって活動しています。執行部は、新入生歓迎会や卒業生のためのイベントなどを企画、運営。学生が要望する活動を応援しています。

ゆいまーるのわ

めんそーれ！ハイサイ！
いちゃりばちょーで精神！！
私達は、沖縄の伝統の踊り、エイサーを踊っています。主に学校行事や祭り、老人ホームなどで踊りを披露。み～んな仲良しで楽しいサークルです。

学生奉仕団

街頭で献血参加の呼びかけを行ったり、献血者を増やすための話し合う合宿を行うなどの活動を行っています。年齢を越えて多くの関わりがあり、ものの考え方や視野が広がります。

吹奏楽部

吹奏楽サークルです！学校行事を中心に活動しています。演奏会前は集まって練習しますが、それ以外は個人的にアンサンブルを組んで、来れる日に来て練習するなど、とても自由なサークルです。一緒に音楽を楽しみましょう！

KDNS

KDNSサークルは、災害時に学生であっても自主的に動くことができるように災害・防災に対する知識を平時より学ぶことを目的としています。これまでに熊本や朝倉での災害に対する活動や学内で災害勉強会などを行ってきました。

書道部

私たち書道サークルは、書と音楽を融合させて、「書道パフォーマンス」という形で、書道の楽しさを伝えるべく、活動しています。毎週1回、練習に励み、大学祭や様々なボランティアに挑戦しています。

SLAV

(Sign Language And Volunteer)
手話教室に週1回講師を招き、楽しい雰囲気の中で手話の学習を行っています。また、地域のボランティア活動に積極的に参加しています。

DnD

(Dance Nurse Dance)
大学生活楽しく過ごしたいならほかの大学に行くこのサークルがオススメです！
ダンスも楽しめて、友達も増える！ぜひ一緒に踊りましょう。

バドミントンサークル

初心者から経験者まで皆で楽しくをモットーに、週に1回活動しています。運動不足解消や他学年との交流など参加目的は自由です。一緒にプレーしましょう！

PEACE

PEACEはカンボジアの孤児院を支援する目的で発足したサークルです。学祭で得たお金や文房具を孤児院に寄付するといった活動を行ってきましたが、今後は国内外問わずに活動の幅を広げようと方向性を模索中です！

MOL

(Music Of Life)
活動は、大学祭の後夜祭で演奏したり、新入生歓迎会で演奏したりしています。初心者でも十分楽しめるサークルです。

愛球会

体育館やグラウンドで、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、テニス、サッカーなどの球技を、遊び感覚で楽しんでいます。仲間との触れ合いも大きな魅力です。

牛蛙の会

毎週1回、体育館でバレーボールをしています。初心者、経験者関係なくみんなで楽しくプレーしています。又、バレー以外にもキャンプなどの交流も活発に行っています。

ESS

(English Speaking Society)
自分の言いたいことを英語で表現する練習をしています。国際関係や英語を使う仕事に興味がある人、英語がもっとうまくなりたい人などなど誰でも大歓迎です！

サークルオブピア

このサークルは、「ピア」と「ティンクル」の2種類のボランティアがあります。ピアは、ボランティアの対象が幼児・小児から高齢者までの地域のボランティア活動です。ティンクルは、赤十字青年奉仕団のボランティア活動としてキャンドルサービス等を行っています。

弓道部

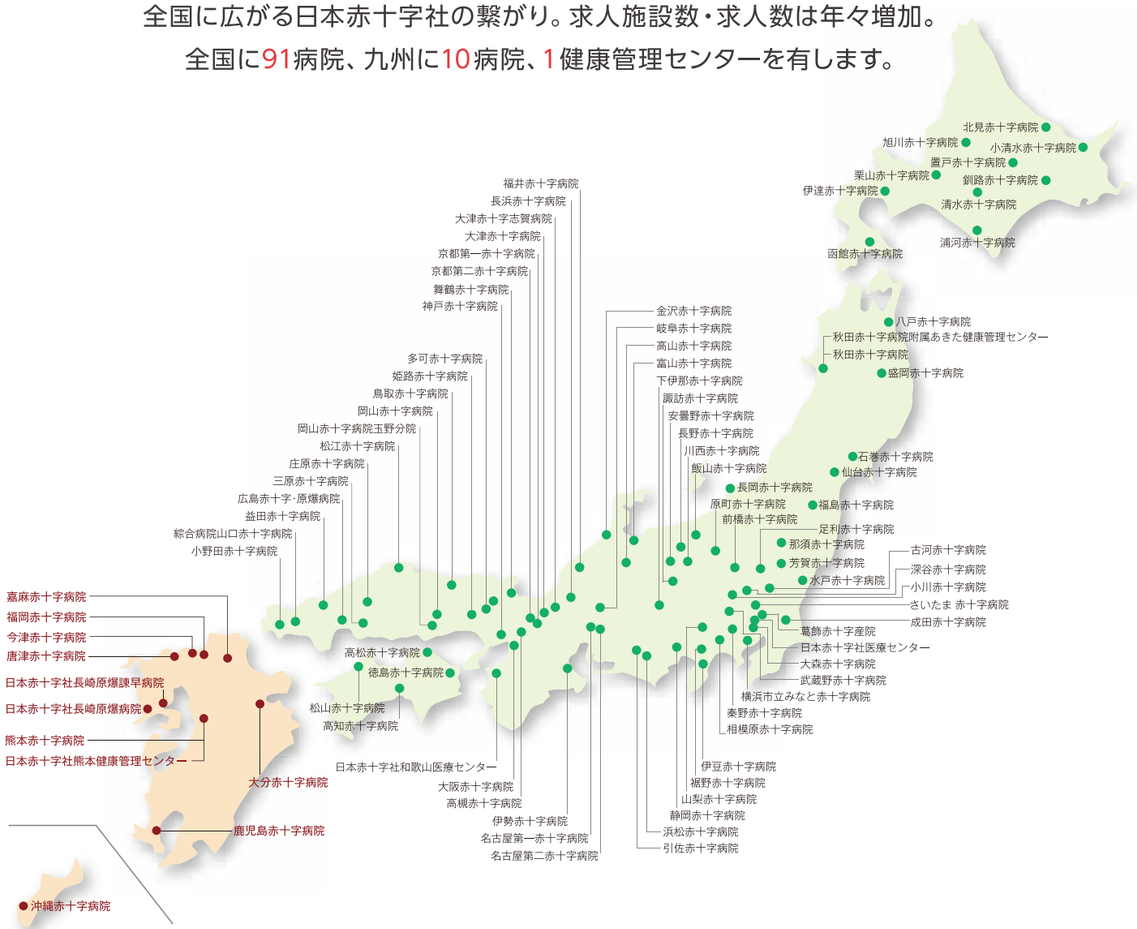
私たち弓道部は、毎週1回、弓道場で活動を行っています。設備がとても充実していて、初心者・経験者問わず楽しく上達を目指すことができるサークルです。

Red Cross

バスケットサークルです！週に1回、活動しています。経験者2割、初心者8割で男女仲良くやってます！楽しくやったもん勝ち！！バスケしたことないからと思っているそこのあなた！！諦めたらそこで試合終了ですよ…？？

全国に繋がる赤十字ネットワーク

全国に広がる日本赤十字社の繋がり。求人施設数・求人数は年々増加。
全国に91病院、九州に10病院、1健康管理センターを有します。



九州各地の赤十字病院

福岡赤十字病院

今津赤十字病院

嘉麻赤十字病院

唐津赤十字病院

熊本赤十字病院

日本赤十字社熊本健康管理センター

大分赤十字病院

日本赤十字社長崎原爆病院

日本赤十字社長崎原爆諫早病院

鹿児島赤十字病院

沖縄赤十字病院

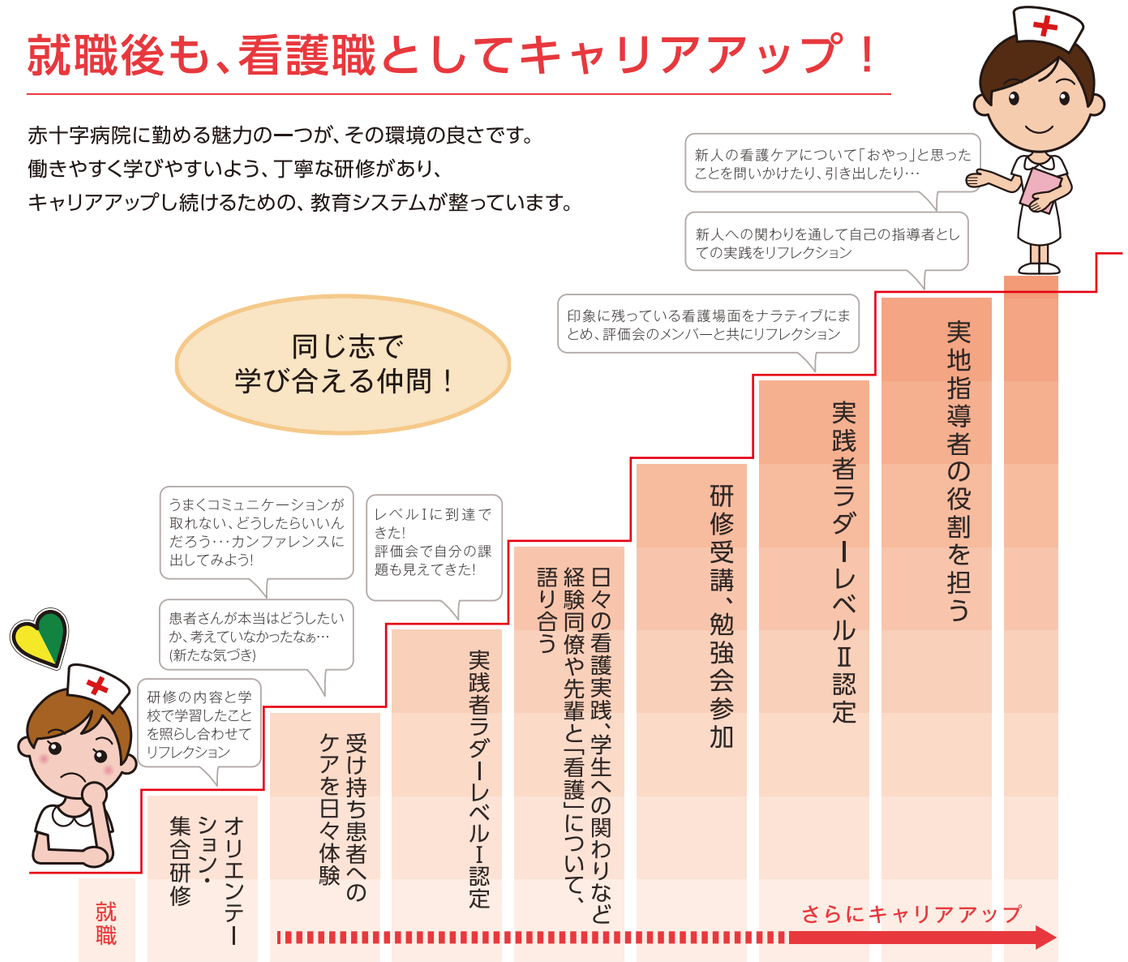
実習について

規模や機能が異なる施設で、段階に沿った実践力を磨く

看護は科学的根拠に基づく実践の科学であり、臨地実習は人間力を涵養する場でもあります。本学では、**福岡赤十字病院**、**山口赤十字病院**、**熊本赤十字病院**、**唐津赤十字病院**、**嘉麻赤十字病院**などの赤十字病院と、**福岡県内主要総合病院**や**訪問看護ステーション**、**保育園**など規模や機能が異なる多くの実習施設の協力のもと、一年時から段階的に学ぶ環境を整えています。講義や演習で学んだ知識や技術を実践の場で応用し、問題発見・解決・評価のプロセスを主体的に学びます。

就職後も、看護職としてキャリアアップ！

赤十字病院に勤める魅力の一つが、その環境の良さです。
働きやすく学びやすいよう、丁寧な研修があり、
キャリアアップし続けるための、教育システムが整っています。



※赤十字病院へ

キャリア開発ラダー　日本赤十字社が全国の赤十字病院に導入している、段階的に設定された教育システム

万全の就職・進学サポート体制

日本の未来を担う看護師を育成し、希望進路へ多数輩出。
学生一人ひとりの意欲を高め、思い描いた道へと導きます。

就職実績・進路状況　2018年度

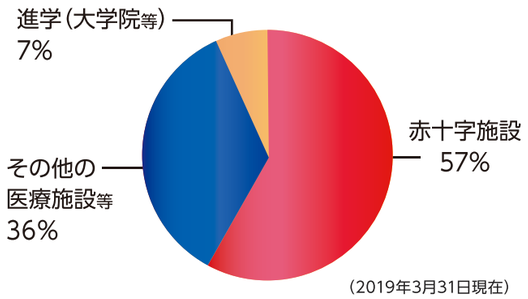
進路分布

多くが第1志望への就職！

進路決定率　開学以来ずっと

100%

就職先は赤十字医療施設をはじめ
国公立病院、公的医療施設など、
多くが第1志望の職場に就職しています。



（2019年3月31日現在）

1. 赤十字施設への就職実績

（1〜4の実績は、全て過去3カ年）

県名	施設名	人数	県名	施設名	人数
福岡県	福岡赤十字病院	56	大阪府	高槻赤十字病院	2
福岡県	今津赤十字病院	5	和歌山県	日本赤十字社和歌山医療センター	2
福岡県	嘉麻赤十字病院	3	京都府	京都第一赤十字病院	3
佐賀県	唐津赤十字病院	10	滋賀県	大津赤十字病院	1
長崎県	日本赤十字社長崎原爆病院	6	愛知県	名古屋第一赤十字病院	2
長崎県	日本赤十字社長崎原爆諫早病院	4	愛知県	名古屋第二赤十字病院	4
熊本県	熊本赤十字病院	13	静岡県	静岡赤十字病院	4
大分県	大分赤十字病院	8	新潟県	長岡赤十字病院	1
鹿児島県	鹿児島赤十字病院	7	神奈川県	横浜市立みなと赤十字病院	10
沖縄県	沖縄赤十字病院	2	東京都	日本赤十字社医療センター	1
徳島県	徳島赤十字病院	2	東京都	武蔵野赤十字病院	11
山口県	綜合病院山口赤十字病院	3	埼玉県	さいたま赤十字病院	3
兵庫県	神戸赤十字病院	8	群馬県	前橋赤十字病院	1
大阪府	大阪赤十字病院	4	合計		176

2. その他の医療施設（一部）

独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院　8名
小倉記念病院　14名
福岡市立こども病院　10名
国立国際医療研究センター病院　3名
国立病院機構災害医療センター　1名

3. 進学先

久留米大学大学院
聖路加国際大学大学院
鹿児島大学大学院
日本赤十字看護大学大学院
日本赤十字九州国際看護大学大学院

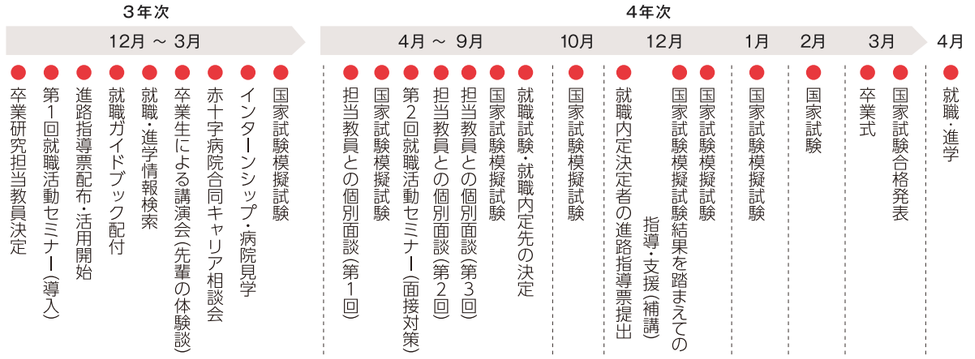
4. 進路状況

年度	2016	2017	2018
看護師	99名	94名	94名
保健師	0名	1名	0名
進学等	5名	7名	7名

就職・進学・キャリアプラン

段階的な就職・進学支援体制を設けています。

》入学から卒業まで、担当教員が学生一人ひとりに個別対応を行います。



国家試験対策

学生による学生のための国試対策。

国家試験合格率
（2018年度）

高い合格率！	本学（新卒）			全国（新卒）		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
看護師国家試験	103	102	99.0%	58,308	55,216	94.7%
保健師国家試験	10	10	100.0%	7,456	6,567	88.1%
助産師国家試験	4	4	100.0%	2,079	2,076	99.9%

※助産師国家試験は大学院

学生国家試験対策委員から

私たちが看護師・保健師になるためには、国家試験に合格しなければなりません。国家試験対策は、基本的には一人ひとりが、合格に向けて主体的に取り組むものです。しかし、4年生になると実習や就職活動、卒業研究など多数のことが同時進行し、一人ではくじけそうになることもあります。志願学生で構成する国家試験対策委員は、学生からの意見を集約し学年のカラーに合わせた対策を考え、先生方と調整しながら模試や勉強会の企画・運営などを行い、受験生全員の志気を高めています。

》1年次から段階的にキャリア教育を始めます。

将来のイメージを広げる学習指導
入学時より、専門職としての将来に向けて看護学部で学ぶ意義について考える機会を設けています。1年次9月には、看護のフィールドに出向き将来のイメージを広げる機会とします。

実習で重ねる看護体験
2年次から本格的な実習が始まり、3年次には専門領域の実習となります。看護の現場での体験や学びを重ねながら、目標とする看護師像やキャリアデザインを描いていきます。

丁寧なガイダンス
3年次後期から、就職活動セミナーが始まります。3年次の後期は自己分析やエントリーシートの書き方、4年次前期は面接対策として演習を行い、就職に必要な知識や所作などを身につけていきます。

卒業生は身近なアドバイザー
3年次後期に卒業生による講演を実施しています。女性看護師、男性看護師、保健師、助産師として活躍している卒業生から仕事の実際や4年次の国家試験対策についてアドバイスをもらい、4年次の過ごし方をイメージし、キャリアデザインを明確にしていきます。

AP事業（大学教育再生加速プログラム）

卒業時における質保証の取組の強化。

平成28年度 文部科学省 大学教育再生加速プログラム
「テーマV 卒業時における質保証の取組の強化」に採択されました。

本事業では、生涯学び続け、成長し続ける看護人材を育成するために、学士課程教育と就職先での現任教育とをシームレスに接続する「看護職キャリアパス基礎スケール〈仮称〉」と「ディプロマ・サプリメント（学位証明書補足資料）」を開発します。
これにより、卒業時の学修成果を社会から評価することを可能にし、適切な現任教育に繋げることができ、看護基礎教育からエキスパートナース育成までの一貫した教育システムの確立に貢献します。

大学教育再生加速プログラム（AP）
テーマV 卒業時における質保証の取組の強化

入試情報

【本学の入学試験制度について】

本学の入学試験は、推薦選抜入試と試験選抜入試の2つに分かれています。それぞれ入試日程は異なりますが、併願することができます。推薦選抜入試には、公募推薦入試と赤十字特別推薦入試、指定校推薦入試の３つがあり、公募推薦入試と赤十字特別推薦入試は併願することができます。

試験選抜入試には、一般入試、大学入試センター試験利用入試の2つがあり、一般入試と大学入試センター試験（前期）は、同日に実施し、併願することができます。

したがって、本学の行う下記**1**、**2**もしくは **4**、**5** の入試は、いずれも併願することができます。

推薦選抜入試

1. 公募推薦入試

高等学校長の作成した推薦書に基づき、本学が推薦入試を行い、合格者を決定します。

2. 赤十字特別推薦入試

高等学校長の作成した推薦書に基づき、本学が推薦入試を行い、その結果を基に日本赤十字社各県支部にて面接試験を実施します。各県支部長が赤十字特別推薦奨学生として本学に推薦し、本学が合格者を決定します。

3. 指定校推薦入試

高等学校長の作成した推薦書に基づき、本学が推薦入試を行い、合格者を決定します。

試験選抜入試

4. 一般入試

本学が独自の学力試験と面接を行い、合格者を決定します。

5. 大学入試センター試験利用 (前期) 入試

学力試験は大学入試センター試験を利用し、本学が面接を行い、合格者を決定します。

6. 大学入試センター試験利用 (後期) 入試

学力試験は大学入試センター試験を利用し、本学が面接を行い、合格者を決定します。

受験会場

●推薦選抜入試

・日本赤十字九州国際看護大学

・日本赤十字社沖縄県支部

●一般入試　●大学入試センター試験

・日本赤十字九州国際看護大学

※会場の詳細は、いずれも学生募集要項にてご確認ください。

入学試験種別

「推薦選抜入試」と「試験選抜入試」に大別されます。定員は合わせて１００名です。

●推薦選抜入試

・公募推薦入試 / 指定校推薦入試　定員**２２**名程度

・赤十字特別推薦入試　定員**８**名程度

●試験選抜入試

・一般入試　定員**６０**名程度

・大学入試センター試験利用入試　前期定員 **７**名程度　後期定員**３**名程度

試験科目

●推薦選抜入試

３つの入試は同日、同試験で実施します。

区分	試験科目
筆記試験	小論文・英語基礎力調査
面接・書類審査	

●試験選抜入試

一般入試は本学独自入試です。

区分	科目	出題範囲	
必須科目	国語	「国語」（近代以降の文章）	
	英語	「コミュニケーション英語Ⅰ」 「コミュニケーション英語Ⅱ」 「コミュニケーション英語Ⅲ」 「英語表現Ⅰ」 「英語表現Ⅱ」	
選択科目	数学	「数学Ⅰ・数学 A」	1科目選択
	化学	「化学基礎」「化学」※	
	生物	「生物基礎」「生物」※	
面接・書類審査			

※化学は、「物質の変化と平衡」「無機物質の性質と利用」「有機化合物の性質と利用」の範囲から出題します。
※生物は、「生命現象と物質」「生殖と発生」「生物の環境応答」の範囲から出題します。

●大学入試センター試験利用入試

大学入試センター試験利用入試はセンター提供成績に加え、面接と書類審査を行います。

区分	教科	試験科目
必須科目	国語	「国語総合」（近代以降の文章）
	外国語	「英語」（リスニングを含む）
	数学	「数学Ⅰ・数学 A」
選択科目	理科	「物理」「化学」「生物」より１科目選択　または、 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」より２科目選択
面接・書類審査		

過去のデータ

年度別入学者数

単位：人

年度	試験選抜	推薦選抜
2019 年	91(287)	34(64)
2018 年	68(323)	33(56)
2017 年	87(321)	36(73)
2016 年	80(248)	30(72)

（ ）内は受験者数

年度別志願者倍率

年度	試験選抜	推薦選抜
2019 年	4.3	2.1
2018 年	4.7	1.9
2017 年	4.1	2.4
2016 年	3.1	2.4

年度別出身高校地域別入学状況

単位：人

年度	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	九州以外
2019 年	96	4	5	7	1	4	3	2	3
2018 年	61	3	7	7	3	4	5	2	9
2017 年	68	5	10	9	4	6	9	2	10
2016 年	78	2	4	7	2	4	4	1	8

学納金・奨学金制度

学納金

（単位：円）

1年次納付金額	前　期	後　期	年　額
入学金	300,000	ー	300,000
授業料	550,000	550,000	1,100,000
実験実習費	100,000	100,000	200,000
維持運営費	100,000	100,000	200,000
計	1,050,000	750,000	1,800,000

2年次以降の納付金額	前　期	後　期	年　額
授業料	550,000	550,000	1,100,000
実験実習費	100,000	100,000	200,000
維持運営費	100,000	100,000	200,000
計	750,000	750,000	1,500,000

※保健師課程専攻希望者(選抜)は、4年次に履修料として
別途100,000円が必要になります。

特待生・奨学金制度

日本赤十字九州国際看護大学 学部新入特待生制度

選考基準	● 一般入試成績上位者 7名程度 ● 大学入試センター試験利用(前期)入試 成績上位者 3名程度
特待の内容	入学金（300,000円）免除

日本赤十字九州国際看護大学 給付奨学金制度

選考基準	● 各学年5名程度を、毎年度選考。 1）高い修学意欲を有すること。 2）経済的困窮度が高く、修学困難であること。
給付額	275,000円

奨学金体験レポート

VOICE

将来まで見据えた学生支援

私は、出身地である日本赤十字社熊本県支部奨学金を利用して大学生活を送っています。高校生の時に熊本地震で被災して避難所での生活をしました。その時救護活動に来ていた全国の日本赤十字社の人に憧れたことがきっかけです。そこからこの大学を見つけて入学しました。奨学金制度を利用することで経済面だけでなく、就職前から病院職員の方々と繋がりを持つことができる利点があります。また赤十字活動という授業では熊本赤十字病院に行きました。国際医療救援部の方々から海外での活動を聞くことができ、緊急対応ユニットの設備を見学させてもらいました。様々な活動を知ることができ、視野が広がりました。これからも将来のために自分を成長させる充実した大学生活を送っていきたいです。

2年生 熊本県・熊本北高等学校出身 山部 勇純さん

大学生に寄り添う、充実したサポート体制

私は、将来生まれ育った大分で働きたいと思い、日本赤十字社大分県支部奨学金を利用して、大学生活を送っています。この制度を利用すると、経済面だけでなく大学生活や日常生活で困っていることなどをアドバイスいただける環境がある為、とても励みになります。加えて、大分赤十字病院の院長先生をはじめスタッフの方々と働く前から繋がりができ、安心して就職することが出来ると思います。
日本赤十字社では、災害救護活動を行っています。本学でも、全国にある赤十字の大学と連携し地域に密着した災害救護を学べる機会や授業があります。授業で赤十字が行う災害救護活動について学び、将来私自身、災害救護班の一員として活躍したいと思うようになりました。残りの大学生活も、県支部や病院の方々に支えていただきながら、夢に向かって充実した生活を送っていきたいと思います。

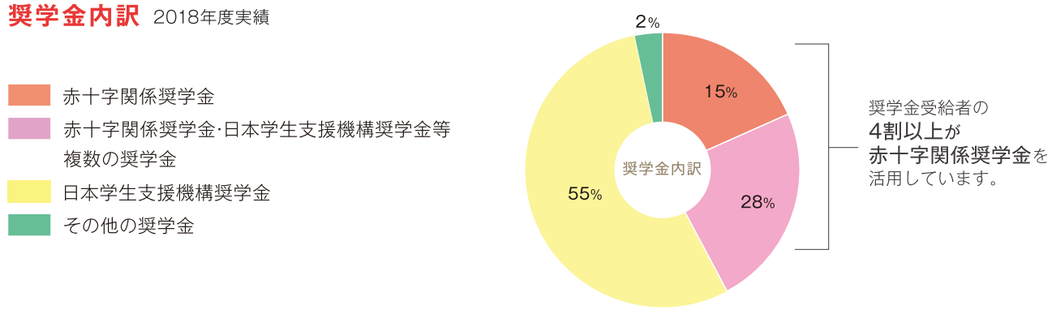
3年生 大分県・東明高等学校 真鍋 ゆかりさん

奨学金

充実した学生生活を経済面からしっかりサポートします。

本学では、学生生活をサポートするために様々な奨学金を取り扱っています。
日本赤十字関係奨学金、日本学生支援機構奨学金、及び地方公共団体の奨学金などです。
6割の学生が何らかの奨学金を受給し、受給者の約3割が複数の奨学金を併用しています。

奨学金内訳 2018年度実績



多くの赤十字施設等が奨学金制度を設けています。返還免除制度も充実しています。

奨学金 2018年度実績

日本赤十字社 県支部奨学金	貸与額	
	赤十字特別推薦奨学金	支部奨学金
福岡県支部	600,000円	600,000円
佐賀県支部	600,000円	600,000円
長崎県支部	900,000円	900,000円
熊本県支部	400,000円	400,000円
大分県支部	600,000円	600,000円
宮崎県支部	600,000円	—
鹿児島県支部	900,000円	—
沖縄県支部	1,100,000円	—
山口県支部	—	600,000円
兵庫県支部	—	600,000円

日本赤十字社関連団体	貸与額
日本赤十字社看護師同方会奨学金	360,000円

赤十字医療施設奨学金	貸与額
福岡赤十字病院（福岡県）	600,000円
今津赤十字病院（福岡県）	600,000円
嘉麻赤十字病院（福岡県）	600,000円
熊本赤十字病院（熊本県）	600,000円
鹿児島赤十字病院（鹿児島県）	700,000円
神戸赤十字病院（兵庫県）	600,000円
高槻赤十字病院（大阪府）	600,000円
大阪赤十字病院（大阪府）	600,000円
名古屋第二赤十字病院（愛知県）	600,000円
日本赤十字社和歌山医療センター（和歌山県）	600,000円
長岡赤十字病院（新潟県）	600,000円
静岡赤十字病院（静岡県）	840,000円
石巻赤十字病院（宮城県）	720,000円
横浜市立みなと赤十字病院（神奈川県）	600,000円
武蔵野赤十字病院（東京都）	600,000円

※この他にも、多くの赤十字病院が奨学金を準備しています。

その他
日本学生支援機構奨学金、ナイチンゲール奨学基金、各県奨学金、各市教育委員会奨学金 他

※金額は全て年額です。年度により変動することがあります。※詳細については、学生募集要項にてご確認ください。

大学院看護学研究科

看護学専攻
修士課程

GRADUATE SCHOOL OF NURSING

教育理念

人間の尊厳を基調として、多様な健康ニーズに対応できる高度な専門性を追究することを教育理念としています。

教育目標

赤十字の人道の理念を基調に、多様な健康ニーズを学際的に研究し、国内外の保健・医療・福祉に関連した社会的ニーズに対応する理論と技術を創出・実践する看護分野の専門家を育成することを教育目標としています。

大学院の目的

本学修士課程は、建学の精神である赤十字の理想とする人道的任務の達成を図るため、看護に関する学術の中心として、広く看護の実践と教育・研究に関する理論と専門技術を教授研究し、深い学識及び卓越した感性と人間性を備えた高度な看護専門職の育成を図り、看護学の発展とともに世界の人々の健康と福祉の向上と豊かな生活の創造に寄与することを目的としています。

アドミッションポリシー

本学修士課程はこのような人を求めています。
・人間の尊厳と権利を擁護する倫理観を有する人
・基礎学力と専攻領域の基礎的知識を身につけている人
・看護・保健専門職として研究する基礎的能力を有する人
・主体的に国内外の健康問題について学び、多職種と協働して社会に貢献する態度を有する人

修士課程の特色

研究方法を強化した共通科目

本学の共通科目の特色として、研究方法(研究方法総論)、研究方法AーI(量的研究方法の基礎)、研究方法BーI(質的研究方法の基礎)、研究方法AーII(量的研究方法)、研究方法BーII(質的研究方法)といった研究方法を学ぶ科目が多くあります。質的研究と量的研究に対するきめ細やかな指導を行い、大学院生の研究能力向上を支援します。

充実した研究環境

共同研究室には、大学院生一人ひとりが研究活動に専念できるように、専用のデスク、パソコンが準備されています。その他、SPSS搭載のノートパソコンも貸与しています。全館Wi-Fi対応で、いつでもどこでもインターネットや文献収集に必要な医療系データベースに接続できます。一部のデータベースは、学外からのアクセスも可能です。また、ラーニング・コモンズには、プロジェクター等の機材を配備し、研究発表の練習や他領域の大学院生とのディスカッションなど新たな協同学習の場も整えています。

社会人への配慮

金曜日と土曜日に授業が(CNSコース除く)集中しているため、1年間で大半の科目履修ができます。2年目は、修士論文を作成するための多くの時間をとることができます。なお、大学院入学前に、本学大学院で科目等履修生として修得した単位は、大学院入学後の修得単位として10単位まで認められます。このように、社会人が働きながら本学で修士号を取得しやすいようにきめ細やかな対応をしています。

垣根を越えた指導体制

一つの領域は専門性豊かな複数の分野で構成されています。たとえば、成育看護、成人看護(慢性)、老年看護は独立した専門分野ですが、この3分野は生涯発達看護という領域に位置付けられています。一見、専門性が違う分野であっても、生涯発達という時間的経過でとらえなおすと対象の健康問題を包括的にとらえることができます。さらに、領域の垣根を越えた指導体制としては、研究方法(研究方法総論)を受講した大学院生は、領域の違いを越えて、論文をクリティークする方法を合同演習で学びあいます。

入学から修了までの履修の流れ(標準課程)※長期履修制度有り

1年次：前期	1年次：後期	2年次：前期	2年次：後期
領域必修科目	領域必修科目	特別研究(修士論文作成)	
領域演習(研究計画に関する検討)			
共通必修科目	共通必修科目		
共通選択科目	共通選択科目	共通選択科目	
研究テーマの決定	研究計画書の作成	倫理審査、データ収集・分析、論文作成	
		研究計画書審査	修士論文審査・最終試験

修了

学　位

修士(看護学)
または
修士(保健学)

入試相談会

オープンキャンパスでは、
入試相談会を実施します。

2019年実施日 7/14(日)・9/14(土)

問い合わせ先
(入試広報課) 0940-35-7008

沿革
2001年 4月　日本赤十字九州国際看護大学 開学
2006年 6月　大学院設置認可申請書を文部科学大臣に提出
2006年11月　文部科学大臣から大学院設置の認可を受ける
2007年 4月　日本赤十字九州国際看護大学大学院看護学研究科 開設
2009年 3月　財団法人大学基準協会における大学評価の結果、大学基準に適合していると認定される
※認定期間は2016年3月31日まで
2009年 6月　大学院看護学研究科看護学専攻「助産師学校」指定申請書を文部科学大臣に提出、受理される
2009年10月　文部科学大臣から大学院看護学研究科看護学専攻(助産コース)開設の認可を受ける
2010年 4月　大学院看護学研究科看護学専攻(助産コース) 開設
2015年 3月　大学院共同看護学専攻博士課程設置認可申請書を文部科学大臣に提出
2015年 8月　文部科学大臣から大学院共同看護学専攻博士課程設置の認可を受ける
2016年 3月　公益財団法人大学基準協会における大学評価の結果、大学基準に適合していると認定される
※認定期間は2023年3月31日まで
2016年 4月　大学院看護学研究科共同看護学専攻博士課程 開設
2017年 4月　大学院看護学研究科看護学専攻(CNSコース) 開設
2018年 4月　大学院講義室・研究室 移転

入試情報

入学者募集詳細(修士課程)

募集定員 10名

修業年数 2年(長期履修課程の場合は3年)

募集専攻領域

コース「学位」	専攻領域(分野)
①保健コース「修士(保健学)」	国際保健(災害・国際協力、ヘルスプロモーション)
②看護コース「修士(看護学)」	生涯発達看護(成育看護、成人看護(慢性)、老年看護)
	広域看護(クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケア)
	基盤看護(看護管理、看護教育、看護倫理)
③CNSコース「修士(看護学)」	クリティカルケア看護、在宅看護
④助産教育コース「修士(看護学)」	助産教育

入学試験概要

試験区分	Ⅰ期	Ⅱ期
出願期間	2019年8月1日(木)～8月9日(金) ※当日消印有効	2019年12月19日(木)～2020年1月6日(月) ※当日消印有効
試験日	2019年9月7日(土)	2020年1月25日(土)
試験場所	日本赤十字九州国際看護大学(福岡県宗像市アステイ1丁目1番地)	
選抜方法	学力検査・面接、および書類審査等を総合して行います。	
出願資格	※各入試(一般入試・社会人入試・社会人推薦入試)方法により異なります。詳細は大学院募集要項をご参照ください。	
合格発表	2019年9月13日(金)	2020年1月31日(金)
入学申込手続期間	2019年9月17日(火)～9月27日(金)	2020年2月3日(月)～2月14日(金)
入学手続締切日	2020年3月6日(金)	
入学検定料	30,000円	

授業料

種類	金額					摘要
	標準課程		長期履修課程			
	1年目	2年目	1年目	2年目	3年目	
入学金	300,000円		300,000円			入学金の免除制度あり ※①
授業料	800,000円	800,000円	800,000円	400,000円	400,000円	年額 前期4月中 後期10月中 ※②
維持運営費	200,000円	200,000円	200,000円	100,000円	100,000円	年額 前期4月中 後期10月中 ※②
実験実習費(助産教育・CNS)	200,000円	200,000円	200,000円	100,000円	100,000円	年額 前期4月中 後期10月中 ※②

※① 入学金免除制度の詳細は、大学院募集要項をご参照ください。　※② 1年目前期は3月中

奨学金

奨学金は、人物・学業ともに優秀な学生が、経済的理由により就学が困難と認められる場合に、学資として貸与または給付される制度です。
本学で現在取り扱っている奨学金は次のとおりです。

❶ 日本赤十字九州国際看護大学上田奨学金　1名上限100万円※
❷ 一般財団法人 日本赤十字社看護師同方会奨学資金　総額100万円
❸ 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金　第一種・第二種
❹ 国際看護師協会東京大会記念奨学金　年間180万円以内
❺ 高橋美智大学院教育(看護管理)奨学金　総額60万円※給付
❻ 小倉一春大学院教育(国際看護)奨学金　年間60万円※給付
❼ 綜合病院山口赤十字病院奨学金　年間60万円

※日本赤十字九州国際看護大学上田奨学金は、3名以内。希望者複数の場合、貸与額調整。
○応募には、様々な応募資格や条件があります。詳細は学務課に確認してください。

大学院看護学研究科

共同看護学専攻
博士課程

GRADUATE SCHOOL OF NURSING

遠隔授業のイメージ

遠隔教育システムで、5大学の担当教員から同時に多様な教育・研究指導を受けられます。
もちろん、直接北海道で受講することも可能です。

3年間の教育・研究スケジュール

※長期履修制度あり

前期	1年次	2年次	3年次
4月	入学式 ガイダンス 主研究指導教員決定	ガイダンス 前期授業開始	ガイダンス 前期授業開始 研究計画書 提出④
5月	合同ガイダンス 前期授業開始		博士論文・審査願 提出① （4年目以降の大学院生）
6月		研究計画書 提出①	博士論文 提出① （4年目以降の大学院生）
7月	前期授業終了	前期授業終了	前期授業終了
8月			
9月		研究計画書 提出②	

後期	1年次	2年次	3年次
10月	後期授業開始 合同研究ゼミナール 副研究指導教員決定	後期授業開始	後期授業開始
11月			博士論文・審査願 提出②
12月			博士論文 提出②
1月	後期授業終了	後期授業終了	後期授業終了
2月		研究計画書 提出③	
3月			博士論文発表会 学位記授与式

設置の趣旨

学校法人日本赤十字学園が運営する日本赤十字北海道看護大学、日本赤十字秋田看護大学、日本赤十字豊田看護大学、日本赤十字広島看護大学、日本赤十字九州国際看護大学の5大学は、それぞれに「共同看護学専攻」を設置しました。この5専攻は共同して一つの教育課程を編成し、博士課程の教育・研究を実施します。

「共同看護学専攻」では、これまでに5大学が蓄積してきた教育・研究資源を一体的、有機的に機能させることにより、5大学の教育・研究を融合し、シナジー効果を発揮させ、看護学の「知の共同体」としての多様化、多層化した「共同教育課程」という新たな教育研究環境を学生に提供します。学生は、専用回線で結ばれた遠隔教育システムを用いて、5大学の様々な経験をもつ多くの教員の多様な考えや発想に触れる機会が与えられ、学生個々のニーズや能力等に応じた専門領域の垣根を越えた「オーダーメイド」な教育・研究指導を受ける機会が保証されます。

「共同看護学専攻」は、看護の諸現象に関する研究成果の発展的活用に向けた教育・研究活動の一層の拡充を図り、「知の共同体」で得られた高度な実践知を基盤として、あらゆる看護現象に対してアプローチし、理論や実践方法の創造ができる教育・研究者、自立した研究と研究指導ができる研究者、知的複眼思考・論理的思考に基づき発展的に看護を実践できる実践者の養成を目指します。

博士課程の特色

- 学位は、共同教育課程を構成する5大学の連名により、授与されます。
- 学生は、主指導教員が在籍する大学に学籍を置くことになります。
- 学生は、5大学の施設等を利用することができます。
- 学生は、学籍を置く大学以外の大学の副指導教員からも、研究指導が受けられます。
- メディアを利用した遠隔授業により、各大学で開講する講義を、学籍を置く大学から受講することができます。

共同看護学専攻（博士課程）の教育理念等

理念

赤十字の理念である「人道（Humanity）」の実現

共同看護学専攻の理念は、赤十字の理念である「人道（Humanity）」の実現を目指し、いかなる場合でも一人ひとりの尊厳を守り、人々が有する平和と健康に生きる権利について看護を通して実現することである。さらに、高度な実践知を基盤として、自立した研究活動と研究指導ができる研究者、質の高い看護学の教育ができる教育者、知的複眼思考・論理的思考に基づき発展的に看護を実践できる人材を育成できるような教育を行うことを目指す。

教育目標

- 研究者として、自立して研究活動を行うために必要な高度の研究能力を養う。
- 知的な教養と柔軟性、先見性を兼ね備え、質の高い看護学の教育を行うための教育開発能力、教育能力、課題解決能力を養う。
- 臨床看護実践や教育の場において、リーダーとして活動するための俯瞰力と指導・調整力を養う。
- 国内外の保健・医療・福祉の分野で広く活躍できる能力を養う。

求める人材

- 保健・医療・福祉の専門知識を有し、さらに深く追求する意欲のある人
- 常に探究心をもち、赤十字の看護活動を担う意欲のある人
- 自らの活動範囲を拡げ、看護を発展させる意欲のある人
- さまざまな分野の専門家とともに、独創的な研究を志す人
- 社会での実践から得た知識と経験を体系化し変革する意欲のある人
- 国際的な視座で、国内外へ向けて広く成果を発信する意欲のある人
- 真摯に学び、高い論理性と豊かな人間性をもつ指導者を志す人

養成する人材

- 質の高い看護学の教育および研究指導ができ、それぞれの地域で活躍する人材
- 自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力および基礎となる豊かな学識を備え、看護学分野の研究をリードでき、それぞれの地域の看護研究・看護教育のリーダーとなる人材
- 医療施設等の臨床において看護の質を管理し、継続教育を実践でき、それぞれの地域の看護実践・看護教育のリーダーとなる人材
- 看護実践に対する理論の構築、看護方法論の開発・創造ができ、看護実践のリーダーとなる人材
- 国内外の保健・医療・福祉の分野で創造的な活動ができ、それぞれの地域で保健・医療・福祉分野のリーダーとなる人材
- 未知なる健康課題の発生に対して迅速・的確に対応し、その成果を社会に還元できる人材
- 国内外における災害救護・災害看護を実践するための有用な理論構築ができ、国内外で人道的任務を果たせる人材

学位

博士（看護学）

修了生は、保健医療の現場や高等教育・研究機関等、
社会の幅広い分野において指導力を発揮しながら活躍することが期待されます。

入試等のご相談は、随時受け付けています。
問い合わせ先（入試広報課）0940-35-7008

入試情報

入学者募集詳細（博士課程）

募集定員 2名

修業年数 3年（長期履修課程の場合は4年）

入学試験概要

試験区分	Ⅰ期	Ⅱ期
出願期間	2019年8月1日（木）～8月9日（金） ※当日消印有効	2019年12月19日（木）～2020年1月6日（月） ※当日消印有効
試験日	2019年9月7日（土）	2020年1月25日（土）
試験場所	日本赤十字九州国際看護大学（福岡県宗像市アステイ1丁目1番地）	
選抜方法	学力検査・面接、および書類審査等を総合して行います。	
出願資格	※各入試（一般入試・社会人入試・社会人推薦入試）方法により異なります。詳細は大学院募集要項をご参照ください。	
合格発表	2019年9月13日（金）	2020年1月31日（金）
入学申込手続期間	2019年9月17日（火）～9月27日（金）	2020年2月3日（月）～2月14日（金）
入学手続締切日	2020年3月6日（金）	
入学検定料	30,000円	

授業料

種類	金額							摘要
	標準課程			長期履修課程				
	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	4年目	
入学金	400,000円			400,000円				入学申込手続時※
授業料	800,000円	800,000円	800,000円	600,000円	600,000円	600,000円	600,000円	年額　前期4月中　後期10月中
維持運営費	300,000円	300,000円	300,000円	180,000円	240,000円	240,000円	240,000円	年額　前期4月中　後期10月中

※日本赤十字学園の赤十字6看護大学卒業生・修了生は入学金が免除されます。詳細は、大学院募集要項をご参照ください。

奨学金

奨学金は、人物・学業ともに優秀な学生が、経済的理由により就学が困難と認められる場合に、学資として貸与または給付される制度です。
本学で現在取り扱っている奨学金は次のとおりです。

❶ 日本赤十字九州国際看護大学上田奨学金　1名上限100万円※
❷ 一般財団法人 日本赤十字社看護師同方会奨学資金　総額100万円
❸ 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金　第一種・第二種
❹ 国際看護師協会東京大会記念奨学金　年間180万円以内
❺ 高橋美智大学院教育（看護管理）奨学金　総額60万円※給付
❻ 小倉一春大学院教育（国際看護）奨学金　年間60万円※給付
❼ 綜合病院山口赤十字病院奨学金　年間60万円

※日本赤十字九州国際看護大学上田奨学金は、3名以内。希望者複数の場合、貸与額調整。
○応募には、様々な応募資格や条件があります。詳細は学務課に確認してください。

国際看護実践研究センター

日本赤十字九州国際看護大学は赤十字の人道精神に基づきグローバルな教育プログラムを有し、国内外で活躍できる看護師を養成する大学として設立されました。
2013年4月、本学そして赤十字の特徴でもある国際看護と災害看護の実践と研究を推進するために「国際看護実践研究センター」を開所いたしました。
本センターは、国際看護、赤十字、災害看護の教育・実践・研究を実施し、国際性豊かな看護学部生・大学院生を育成し、看護教職員の国際的な活動を支援し、海外との連携により国際看護の向上に寄与することを目的としています。

＞国際交流協定大学

海外の大学との交流協定により、相互の連携協力を強化し、看護人材や研究交流を行うことで、世界の人々の健康の発展に寄与します。

- タイ赤十字看護大学
  Thai Red Cross College of Nursing (Thailand／February 11, 2008)
- ナムディン看護大学
  Nam Dinh University of Nursing (Vietnam／January 5, 2011)
- アイルランガ大学
  Airlangga University
  (Indonesia／May 26, 2017更新)
- ラ・ソース大学
  Institut et Haute Ecole de la Santé La Source
  (Switzerland/January 1,2019)

●ラ・ソース協定調印

＞国際フォーラム

最新の事例を知り、明日のグローバルヘルスを支える看護の視野を広げます。

保健、看護を取り巻く世界情勢について理解を深めることを目的に、先進的な取り組みを行っている国内・外の研究者・看護実践者を招へいして、最新の事例や今後の保健医療界の動向をテーマとした講演・意見交換を行います。

テーマ
- 2018年 「いま、日台の看護職養成は？
  ～グローバル化の波と人口動態の激変を受けて」
- 2017年 「フォレンジック看護とは？」
- 2016年 「LocalからGlobalへ　大規模災害　その時本学は！
  －東日本大震災　熊本地震の経験から考える－」
- 2015年 「アメリカの看護に学ぶ」

国際活動 国内外の知見を広く共有することで、自分の課題が見えてきます。

ランチョンミーティング

本学を訪問する国際機関、NGO、NPO、国内外の開発・人道支援関係者、JICA研修生、本学の学生・教職員が、ランチ時間を利用して、ざっくばらんに実践と活動の経験を語ってくれます。これまで国内外における医療の現状、国際協力事例、留学経験、ボランティア活動について、さまざまな人々が講演し、講演後は、質疑応答や交流を通して看護に役立つ多様な知識を得ることができます。

国際活動 学生が主体! 広い視野で意見交換や交流を行う。

国際シンポジウム

本学学生が主体となり、国際看護、保健医療、社会福祉、人道や開発などに関するシンポジウムを企画から運営し、開催しています。 看護師を目指す者として、自ら視野を広げた学びの機会を作り、本学学生、教職員をはじめ、他大学学生、地域にも国内外の現場を体験した専門家の講演、意見交換や交流の場を提供します。

国際活動 世界の保健・医療の質を高めるための人材育成に参加しています。

JICA研修

本学は、国際協力機構（JICA）の事業に協力しています。毎年、アジア・アフリカなど途上国の保健医療専門家を受け入れ、世界をリードする日本の高齢者看護や災害看護などについて教授し、赤十字や地域の医療・福祉施設の見学を行っています。時に研修メンバーを講師として学生向けにランチョンミーティングも開催しています。

看護継続教育センター

人の心と身体を支えるプロフェッショナルとして
地域社会に貢献していけるように、
卒業後も、あなたの成長を手助けします。

看護継続教育センターは、知識や技術の向上を目指す看護職者を継続的に支援し、地域における「看護の質」を高めていくため、次のような取り組みを行っています。

九州ブロックの
赤十字関連施設に
勤務する看護職者の
継続教育支援

福岡県内の医療施設に
勤務する看護職者の
継続教育支援

OPEN CAMPUS 2019

1回目 7.14 (SUN) 10:00~14:00 / 9:30受付
2回目 9.14 (SAT) 10:00~14:00 / 9:30受付

- ☑ 当日無料シャトルバス運行
- ☑ 全員に素敵なプレゼント！
- ☑ 大学・大学院同時開催！

オープンキャンパスに行こう！

あなたの未来がグッっと近づくはず。
お気軽にご参加を。

オープンキャンパスの見どころ紹介

予約不要 詳しくはホームページをチェック！

在校生との交流
学生による海外研修発表や学校生活について聞けます。

体験コーナー（高齢者・妊婦母親体験など）
血圧・骨密度測定、高齢者体験、妊婦母親体験など、在校生と一緒にやってみよう。

授業体験
災害救護や国際救援に広く携わる教授から少人数制で、意欲的に学べる！

相談コーナー（学部・大学院）
入試、学費、奨学金など、気になることを、お気軽にご相談ください。

その他イベント盛り沢山！

- キャンパスツアー
- 救護服記念撮影コーナー
- 赤十字緊急車両展示コーナー
- 災害ボランティア活動報告
- 入試対策セミナー (9/14のみ)

※他にもさまざまなイベントを企画中

※予定は変更する可能性もあります。

学内見学いつでも開催中！ 月～金（祝日除く）9:00-17:00
平日、随時見学を受け付けています。
ご希望の日時を、事前に入試広報課へお電話ください。

日本赤十字九州国際看護大学
〒811-4157 福岡県宗像市アスティ1丁目1番地　TEL：0940-35-7001　FAX：0940-35-7021